

事務棟 2 階トイレ改修工事

図 面 リ ス ト								
番 号	図 面 名 (建 築)	縮 尺	番 号	図 面 名 (建 築)	縮 尺	番 号	図 面 名 (電 気)	縮 尺
D-00	表紙・図面リスト	――	D-21	サイン詳細図	1/50・10	E-01	電気設備特記仕様書	――
D-01	現場説明書	――				E-02	電気機器姿図	――
D-02	特記仕様書（建築改修）その1	――				E-03	1階平面図・凡例・結線図	1／100
D-03	特記仕様書（建築改修）その2	――				E-04	（既存・改修）2階便所平面詳細図（電灯設備）	1／50
D-04	特記仕様書（建築改修）その3	――				E-05	（既存・改修）2階便所平面詳細図（コンセント・弱電設備）	1／50
D-05	特記仕様書（建築改修）その4	――				E-06	（改修）2階平面図（電灯・弱電設備）	1／100
D-06	特記仕様書（建築改修）その5	――						
D-07	特記仕様書（建築改修）その6	――						
D-08	付近見取図・配置図	1/800						
D-09	（既存）1階平面図	1/100						
D-10	（既存）2階平面図	1/100				番 号	図 面 名 (機 械)	縮 尺
D-11	（既存）3階平面図	1/100				M-01	特記仕様書（機械設備）	――
D-12	（改修）2階平面図	1/100				M-02	衛生設備器具表	――
D-13	（既存）便所矩計図	1/50				M-03	（改修）2階平面図・機器表・凡例（換気設備）	1/100
D-14	（改修）便所矩計図	1/50				M-04	（改修）2階平面図・凡例（消火設備）	1/100
D-15	（既存）1階・2階・3階天井伏図・建具表	1/100				M-05	（既存・改修）2階平面詳細図・凡例（衛生設備）	1/50
D-16	（改修）1階・2階・3階天井伏図・建具表	1/100				M-06	（既存）2階平面図（撤去消火設備）	1/100
D-17	（既存・改修）2階便所平面詳細図	1/30・50						
D-18	（既存）2階便所展開図	1/50						
D-19	（改修）2階便所展開図－1	1/50						
D-20	（改修）2階便所展開図－2	1/50						

			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2: ――	D /
			図面名称		A3: ――	00
			表紙・図面リスト		令和3年 - 月 - 日	

現場説明書（建築・設備工事編）

（Ａ）工事概要及び一般事項

- 工事概要
 - 工事名称 事務棟２階トイレ改修工事
 - 施工場所 鳥栖市
 - 工 期 契 約 日 か ら 9 0 日 間
 - 工事内容 （別添 特記仕様書及び設計図面による）
 - 別途予定の関連工事
- 設計図書の優先順位

設計図書は相互に補完するものとし、相互に相違がある場合の優先順位は次のとおりとする。

 - 質疑回答書
 - 現場説明書
 - 特記仕様書
 - 設計図面
 - 共通仕様書（公共住宅事業者等連絡協議会編集）
- 工事着手前・完成時の提出図書
 - 工事請負契約後、監督員の指示により提出すること。
 - その他、完成図書作成・提出要領により監督員の指示に従って提出すること。
- 契約事務上の注意事項
 - 工事請負契約書は建設工事請負契約約款を使用することとし、その他の契約事務については財務規則による。
 - 不慮の事故に備えて火災保険等に加入すること。なお、契約額は工事規模・請負契約額に相応する内容とし、原則として工事完成期日後14日間の予備期間を設けること。
 - 工事が複数年度に亘る場合は、各年度の請負代金の支払い限度額及び施工責任額は、契約書作成の日までに通知する。

（Ｂ） 現場及び技術に関する説明事項

- 指定仮設

設計図面に明記された仮設については、指定仮設として実施すること。なお、現場状況及び施工方法により変更が必要な場合は監督員との協議により実施すること。
- 工事着工前の確認

建物の配置については設計図書に基づいて縄張りを行い、監督員と最終確認を行うこと。

既存施設内で増築・改修工事をする場合は、仮設計画書及び施工計画書等を作成し施工上必要な「工事用地等」について施設管理者と協議すること。また、既存の設備、地下埋設物については充分な予備調査を行って施工すること。
- 工程管理

工事の着手に当たっては、他の関連工事業者と調整の上、受電時期や試運転調整期間等を見込んだ実施工程表を作成し監督員に提出すること。また、工事期間中はこの工程表に従い工事の円滑な進捗に努めること。
- 施工体制台帳

施工体制台帳及び施工体系図については、下請契約の請負代金額に関わらず、次のとおりとする。

 - 「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の定めに従って、別に定める国土交通省令に従って記載した施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、所定の様式（建築工事監理指針等を参照）により監督員に提出しなければならない。
 - 各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
 - 請負者は施工体系図を所定の様式（建築工事監理指針等を参照）により監督員に提出しなければならない。

※施工体制台帳及び施工体系図等の詳細は、土木工事施工管理の手引きを参照すること。
- 施工中の安全確保及び環境保全等

施工中の安全確保及び環境保全並びに災害・公害の防止については「建築・電気・機械各標準仕様書」によるほか、次の指針・要綱によること。

 - 建築工事安全施工技術指針（平成27年1月20日改正、国営整第216号）
 - 建設工事公衆災害防止対策要綱（平成5年1月12日、建設省経建発第1号） 令和元年9月2日（国土交通省告示496号）
 - 建設副産物適正処理推進要綱（平成14年5月30日改正、国官総第122号、国総事第21号、国総建第137号）

事件・事故発生時には直ちに監督員に連絡すること。
- 使用人等の管理

請負者は、使用人等（下請負者又はその代理人若しくはその使用人その他これに準ずる者を含む）の適正な労働条件を確保し、適時、使用人等への指導及び教育を行うとともに、工事が適正に遂行されるように管理及び監督すること。また、使用人等の管理に当たっては、作業員名簿を作成・保管することとし、監督員の請求があった場合は、提示すること。
- 工事監理者

この工事については、監督員業務の一部を第三者（設計者等）に委託する場合がある。
- 特定元方事業者

労働安全衛生法第30条第2項に基づく特定元方事業者として、この敷地内の建設工事等における契約額が最大の建築工事の請負業者を指定する。
- 工期変更等の場合の前金保証会社への通知

前払金保証約款「工期を変更する場合等における措置」の保証会社への通知は、請負者で行うこと。

（Ｃ）指導事項

- 建設工事の適正な施工の確保について

本工事の施工に当たっては、適正かつ円滑な施工を確保するために「建設業法」や「建設産業における生産システム合理化指針」等に基づく建設関連指導事項を遵守し、適正な契約の締結、適正な施工体制の確立、建設労働者の雇用条件等の改善に努め、建設関連法等に抵触する行為は行わないこと。
- 労働福祉の改善等について

建設労働者の福祉の向上を図り、建設需要に対する労働者を確保し建設業の健全な発展を図るため、労働者災害補償保険制度、建設業退職金共済制度及び労働災害補償共済制度等に関して、土木工事等共通仕様書の規定を遵守すること。

また、建設業退職金共済制度に係る共済証紙の購入については、共済制度の対象となる労働者（対象工事の請負業者の下請業者が当該労働者を使用する場合を含む）の当該工事に係る就労予定日数を把握し、必要枚数を購入後、「発注者用掛金収納書」を発注者へ提出すること。
- 各種調査への協力依頼

公共事業労務費調査、共通仮設費の実績調査等の対象工事となった場合は、必要な協力を行うこと。
- 下請負人等の選定

下請業者、資材調達及び工事に係る技術者等の選定については、「建設工事請負契約約款」によること。

また、工事に使用する資材については、地場産業の活性化を図るため県内で産出、生産又は製造されたものを積極的に使用するよう努めること。

- 下請負人、資材調達先及び技術者の申請等

請負者は、建設工事請負契約約款に規定する下請契約を締結しようとした場合は、一部下請負申請書を監督員に提出し、その承諾を得ること。なお、下請業者が県外業者となる場合は「県内優先不実施の理由書」「下請負辞退書」等を同時に提出すること。

請負者は、建設工事請負契約約款に規定する工事材料に係る納入業者を選定した場合は、工事資材使用届出書を監督員に提出すること。なお、納入業者が県外業者となる場合は、理由書を監督員に提出すること。

請負者は、建設工事請負契約約款に規定する工事に係る技術者等の配置を決定した場合は、技術者等名簿届出書を監督員に提出すること。なお、配置する技術者等が県外居住者となる場合は、理由書を監督員に提出すること。
- 工用資機材等の搬送に関する関連法の遵守等

道路交通法及び関係法令に抵触する搬送車両並びに交通安全の配慮に欠ける業者は排除すること。

また、「電波法 令和2年 法律第25号」により、不法無線局を設置した車両を工事現場に出入りさせないこと。
- 工事実績情報の登録

請負金額が500万円以上の工事については、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報（CORINS）の登録をすること。
- 産業廃棄物税の取扱いについて

本工事により発生する建設廃棄物のうち、九州各県の焼却施設及び最終処分場へ搬入するものについては、産業廃棄物税が課税されるため、適正に事務処理を行うこと。

なお、熊本県及び北九州市へ搬入するものについては、課税対象施設が異なるため、監督員と協議すること。
- 建築物の解体等の作業における石綿対策について

・石綿含有建材等を使用した建築物、工作物などの解体等の作業については、石綿障害予防規則（令和元年厚生労働省令第1号、以下「石綿則」という。）に従い、適正に行うこと。

・建築物等の解体等の作業を行うに当たっては石綿ばく露防止対策等の実施内容の掲示を行うこと。

なお、掲示方法については、監督員と協議すること。

・その他関係法令（廃棄物処理法、大気汚染防止法、労働安全衛生法等）を遵守すること。
- 環境への負荷の少ない物品等の使用について

「佐賀県環境物品等の調達の推進に関する基本方針」による特定調達物品等を使用する場合は、その方針における当該物品に係る「判断の基準」を満たすものを使用すること。なお、その「判断の基準」に対応することができない場合は、監督員と協議すること。
- 木質系材料に係る合法性及び持続可能性の証明

木質系材料を使用する場合は、その原料となる原木についての合法性及び持続可能な森林経営が営まれている森林からの産出に係る確認を行うこと。なお、その確認を行う場合には、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン（平成18年2月15日）」に準拠して行うこと。
- 建設副産物の取扱い

建設副産物の取扱いについては、「建設副産物適正処理推進要綱」（国土交通省平成14年5月30日改正）によることを原則とするほか、建設副産物の取扱い方針（佐賀県）に従い、適切に処理すること。
- ゴム製品等の品質確認等

請負者は、東洋ゴム化工品（株）、ニッタ化工品（株）で製造された製品や材料（以下、ゴム製品等とする。）を用いる場合には、同社が製造するゴム製品等に対して請負者が指定した第三者（東洋ゴム化工品（株）、ニッタ化工品（株）と資本面・人面で関係がない者）によって作成された品質を証明する書類を提出し、監督員の確認を得るものとする。

第三者による品質証明書類を提出し、監督員の確認を得た場合であっても、のちに製品の不良等が判明した場合に請負者の瑕疵担保責任が免責されるものではない。

（Ｄ）その他特記事項

- 本工事は、建築・設備工事検査取扱い要領に定める中間検査の工程に達した時、適宜中間検査を実施出来る。実施工程時期については、別途監督員の指示による。
- 本工事は、完成施設事後調査実施要領に基づき、各施設管理者及び設計（監理）委託業者の立会いのうえで完成施設事後調査を実施すること。

第一次調査：工事が完成し、施設管理者に引き渡した後、概ね6ヶ月の時期

第二次調査：かし担保期間（木造建築又は設備工事は1年、RC造等の建築物等又は土木工作物等は2年、構造等にかかわらず改修工事の場合は1年）が終了する前、概ね1ヶ月の時期
- 敷地内外における工用用及び作業員の車輛の通行については、交通安全に十分配慮し、必要に応じて交通誘導員を配置すること。
- なお、交通誘導員を配置しない工事にあっては同敷地内の交通誘導員の指示に従うこと。
- 騒音や粉塵等が発生する工事については、事前に施設管理者と十分協議すること。
- 解体・撤去時の養生に十分注意すること。また、構築物や通路（道路）等を損傷・汚染させた場合は、施工者の責任において速やかに原形に復すること。
- 本工事は、「工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領」によるワンデーレスポンス実施対象工事である。
- 地下埋設物・架空線等上空施設の近接作業を行う場合には、「地下埋設物・架空線等上空施設の事故防止マニュアル」に従い、慎重に行うこと。
- 本工事は、設計変更手続きの透明性と公正性の向上及び迅速化を目的として、発注者と施工者が一堂に会して、設計変更の妥当性及び設計変更等に伴う工事中止等の判断の協議を行う場として開催する「設計変更会議」の設置対象工事である。なお、「設計変更会議」への参加については、「設計変更会議実施要領」による。
- 本工事は、建設現場における「快適トイレ」の設置試行対象工事である。快適トイレは「建設現場における「快適トイレ」設置試行要領」により、受注者の希望で設置すること。
- 舗装の切断作業時に発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、回収された排水については産業廃棄物（汚泥）として適正に処理すること。
- なお、廃掃法に基づき、産業廃棄物の排出事業者（請負業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分、性状等）を処理業者に提供することが必要である。
- 本工事は原則、佐賀競馬開催日は作業停止とする。やむを得ず作業を実施する場合は事前に監督員と協議すること。

		工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
		事務棟２階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2： ———	D
		図面名称		A3： ———	／ O 1
		現場説明書		令和 3 年 - 月 - 日	

[illegible]

[illegible]

			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟 2 階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : ———	D /
			図面名称		A3 : ———	0 4
			特記仕様書（建築改修）その 3		令和 3 年 - 月 - 日	

30. フリーアクセスフロア

20. 2. 2

施工箇所

寸法 (mm)

高さ (mm)

所定荷重 (N)

表面仕上げ材

備考

・450角以上

・100

・3000

・帯電防止床材

・ポリカーベート

・600角以下

・120

・5000

・樹脂製ゴムタイヤ入り

・

・

・

・

・

適用地震時水平力

1階及び地階
中間階 (～ 階)
最上階 (階)
帯電防止床タイル
・直敷タイプ
・パネル一体タイプ
(パネル一体タイプ以外の仕上げ材は別途内装工事とする)

※0.60以上
※0.60以上
※1.00以上

・1.00以上

寸法精度

※標準仕様書20.2.2(b)(5)(i)～(iii)による
厚さ ±0.5mm
平度度 パネル周辺部 1.0mm以下
 圆心と各頂点を結ぶ線上 2.0mm以下

表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書19章による。
床パネルの材質 ※7A合金^① 又は、7A^②合金又は複合材等
構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 (仕上げ:)
スロープ及びボーダー ※製造所の仕様による ※図示

配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※50%以上 ・20～30%
配線取り出し開口 ・パネル1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上
※図示

空調用吹き出し (吸い込み) パネル ・なし ・あり (形式、施工箇所: 図示)
(性能・試験方法)
ローリングロード性能 ・適用する 適用室 ()
※適用しない

ローリングロード試験
3,000N: 積載荷重1000N時において、最大変形量1.5mm以下
(使用上有害な変形、欠け、割れがたつきの欠点がないこと)
5,000N: 積載荷重1000N以上において、最大変形量1.0mm以下
(使用上有害な変形、欠け、割れがたつきの欠点がないこと)
・2床用複合アウトレット用開口
 適用室 ()
 開口の枚 フロア面積8㎡につき1ヶ所かつ予備開口を14㎡につき1ヶ所
 開口の大きさ
 コンセント (電源): 2P15A接地極付×2
 情報用モジュラージャック (電話): 8極8芯×1
 の入ったアウトレットが納まる大きさ
 取付方法 フリーアクセスフロア製造所の仕様とする

31. 可動間仕切

20. 2. 3

構造形式

構成基材の種類

総厚さ (mm)

表面仕上材

防火性能

備考

・スタッド式 (内蔵)

・スタッド式 (露出)

・パネル式

・スタッドパネル式

・鋼板、0.5以上

・7A^③樹脂焼付又は7A^④樹脂焼付
・壁紙張り

・不燃

中心周波数500Hzの音についての透過損失 (dB)

・36未満
・36以上

パネル内に取付ける建具、あり (※図示、)
なし
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
ガラス留め材 ※ガスケット ・シーリング
パネル材料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外

32. 移動間仕切

20. 2. 4

構造形式

操作方法

圧縮装置の操作方法

総厚さ (mm)

表面仕上材

遮音性 (dB/500Hz)

・平行方向 移動式

・二方向 移動式

・手動式

・電動式

・部分電動式

・プッシュ式

・ハンドル式

・部分電動式

・60程度

・100程度

・

・鋼板

・焼付塗装

・

・36未満

・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
※図示
移動間仕切の壁面当たり枠 ※適用する (製造所の仕様による)
パネル材料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外

33. トイレブース

20. 2. 5

表面材の種類

色柄

脚部

ドアエッジ、形状

材質

○メラミン樹脂系化粧板

・ポリエスチル樹脂系化粧板

○無地

・柄物

※幅木タイプ

・

○標準

・R

○アルミニウム製

・ステンレス製

・表面材と同材

吊り方式

※中心吊、吊当たり付

・ ()

34. 視覚障害者用床タイル

11. 2. 2 (19. 2. 2)

施工箇所

種類

寸法 (mm)

厚さ (mm)

屋内

・塩化ビニル製

※300×300

・7.0

・

・磁器質タイル

・セラミック質タイル

※300×300

・

・レジンコンクリート製

・コンクリート製

※300×300

・

屋外

・磁器質タイル

・セラミック質タイル

※300×300

・

・レジンコンクリート製

・コンクリート製

※300×300

・

ブロックパターンは JIS T 9251 による
・樹脂系点字紙 (タイルカーベート用)
 寸法 ・300角 ※500角
 色 ※黄色
樹脂系点字紙の留付は、両面からの挟込みフック式または接合式
樹脂系点字紙突起の形状・寸法及びその配列はJIS T9251に準拠する

35. 階段滑り止め

20. 2. 6

材質

幅 (mm)

取付け工法

端部フラットエンド

・ステンレス製 (SUS304)

・樹脂製ゴムタイヤ入り

・約35

・埋込み工法

・あり

・ステンレス製

・

・

・

・

・なし

・

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる
※ステンレス製 口型 (幅40程度 7.1.5)
・ステンレス製 6×12
・黄銅製 6×12

・集成材手すり

形式

径

材種

仕上

・1段

・35φ

※45φ

・

※タモ

※OL

※2段

※35φ

・

・

・

・

・既製手すり (樹脂製)

形式

径

ブラケット

備考

・O型 (1段)

※40φ

・

アルミ合金製 (心材共)

指づめ防止材共

・O型 (2段)

※34φ

・

・

・

点字表示板 () 箇所
JIS T 0921に基づく点字の表示原則及び点字表示方法による
※ポリカーボネード製 大きさ 120×150程度 厚み 0.1程度
・塩ビ製 大きさ 100×125程度 厚み 0.1程度

36. 床目地棒

20. 2. 7

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる
※ステンレス製 口型 (幅40程度 7.1.5)
・ステンレス製 6×12
・黄銅製 6×12

37. 手すり

20. 2. 12

・再利用する

・新設する

形式

操作方法

種類

スラットの材種

スラット幅 (mm)

スラットのレール材種

寸法

取付箇所

・手動

・ギヤ式

・コード式

・操作棒式

・電動

・

・

・

・

・

・

・鋼製

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・鋼型

・手動

※2本操作コード式

※アルミスラット

・80

※7A^⑤合金製

・図示

・1本操作コード式

・クロススラット

・100

・

・

・

・電動

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

アルミスラット 焼付塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防災性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエスチル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 [G]

38. ブラインド

20. 2. 14

・再利用する

・新設する

形式

開閉操作

ひだの種類

商品名 (程度)

取付箇所

備考

・シングル

・ダブル

・片引き

・引分け

・手引き

・ひも引き

・電動

・

・

・

・

・

・

・フランクシダ

・箱ひだ、つまひだ

・ブレーンひだ、片ひだ

・

・

・

・

・

・

・

・

・シングル

・ダブル

・片引き

・引分け

・手引き

・ひも引き

・電動

・

・

・

・

・

・

・フランクシダ

・箱ひだ、つまひだ

・ブレーンひだ、片ひだ

・

・

・

・

・

・

・

・

使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する製品については [G] とする
縦簾カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上

39. カーテン

20. 2. 14

・再利用する

・新設する

形式

開閉操作

ひだの種類

商品名 (程度)

取付箇所

備考

・シングル

・ダブル

・片引き

・引分け

・手引き

・ひも引き

・電動

・

・

・

・

・

・

・フランクシダ

・箱ひだ、つまひだ

・ブレーンひだ、片ひだ

・

・

・

・

・

・

・

・

・シングル

・ダブル

・片引き

・引分け

・手引き

・ひも引き

・電動

・

・

・

・

・

・

・フランクシダ

・箱ひだ、つまひだ

・ブレーンひだ、片ひだ

・

・

・

・

・

・

・

・

使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する製品については [G] とする
縦簾カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上

40. カーテンレール

20. 2. 14

・再利用する

・新設する

材 種

形式

強度による区分

仕上

形状

・アルミニウム製

・シングル

・片引き

※10-90

※アルマイト

・

・ステンレス製

・ダブル

・引分け

・

・

・

・シングル

・ダブル

・手引き

・ひも引き

・電動

・

・

・

・フランクシダ

・箱ひだ、つまひだ

・ブレーンひだ、片ひだ

・

・

・

・

・

・

・

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

41. ブラインドボックス及びカーテンボックス

20. 2. 14

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

42. コーナービード (壁^⑥・^⑦出隅保護金物)

20. 2. 14

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

43. 天井見切縁

20. 2. 14

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

44. 天井点検口

20. 2. 14

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

45. 床点検口

20. 2. 14

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

46. 仕上塗材仕上げ

15. 5. 2

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放数量
※規制対象外
仕上塗材の種類

種類

呼び名

防火材料

仕上の形状等

・薄付仕上塗材

・内装薄塗材E

・

・砂壁状じゅらく

・内装薄塗材W

・

・京壁状じゅらく

・軽量骨材仕上塗材

・吹付用軽量塗材

・

・砂壁状

・こて塗用軽量塗材

・

・平たん状

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

47. 塗装改修工事

20. 2. 6

材質

幅 (mm)

取付け工法

端部フラットエンド

・ステンレス製 (SUS304)

・樹脂製ゴムタイヤ入り

・約35

・埋込み工法

・あり

・ステンレス製

・

・

・

・

・なし

・

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる
※ステンレス製 口型 (幅40程度 7.1.5)
・ステンレス製 6×12
・黄銅製 6×12

・集成材手すり

形式

径

材種

仕上

・1段

・35φ

※45φ

・

※タモ

※OL

※2段

※35φ

・

・

・

・

・既製手すり (樹脂製)

形式

径

ブラケット

備考

・O型 (1段)

※40φ

・

アルミ合金製 (心材共)

指づめ防止材共

・O型 (2段)

※34φ

・

・

・

点字表示板 () 箇所
JIS T 0921に基づく点字の表示原則及び点字表示方法による
※ポリカーボネード製 大きさ 120×150程度 厚み 0.1程度
・塩ビ製 大きさ 100×125程度 厚み 0.1程度

48. 耐震改修工事

20. 2. 7

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる
※ステンレス製 口型 (幅40程度 7.1.5)
・ステンレス製 6×12
・黄銅製 6×12

49. 手すり

20. 2. 12

・再利用する

・新設する

形式

操作方法

種類

スラットの材種

スラット幅 (mm)

スラットのレール材種

寸法

取付箇所

・手動

・ギヤ式

・コード式

・操作棒式

・電動

・

・

・

・

・

・

・鋼製

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・鋼型

・手動

※2本操作コード式

※アルミスラット

・80

※7A^⑤合金製

・図示

・1本操作コード式

・クロススラット

・100

・

・

・

・電動

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

アルミスラット 焼付塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防災性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエスチル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 [G]

50. カーテン

20. 2. 14

・再利用する

・新設する

形式

開閉操作

ひだの種類

商品名 (程度)

取付箇所

備考

・シングル

・ダブル

・片引き

・引分け

・手引き

・ひも引き

・電動

・

・

・

・

・

・

・フランクシダ

・箱ひだ、つまひだ

・ブレーンひだ、片ひだ

・

・

・

・

・

・

・

・

・シングル

・ダブル

・片引き

・引分け

・手引き

・ひも引き

・電動

・

・

・

・

・

・

・フランクシダ

・箱ひだ、つまひだ

・ブレーンひだ、片ひだ

・

・

・

・

・

・

・

・

使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する製品については [G] とする
縦簾カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上

51. ブラインドボックス及びカーテンボックス

20. 2. 14

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

52. コーナービード (壁^⑥・^⑦出隅保護金物)

20. 2. 14

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

53. 天井見切縁

20. 2. 14

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

54. 天井点検口

20. 2. 14

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

55. 床点検口

20. 2. 14

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・集成材 (仕上げ:)
・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

56. 仕上塗材仕上げ

15. 5. 2

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放数量
※規制対象外
仕上塗材の種類

種類

呼び名

防火材料

仕上の形状等

・薄付仕上塗材

・内装薄塗材E

・

・砂壁状じゅらく

・内装薄塗材W

・

・京壁状じゅらく

・軽量骨材仕上塗材

・吹付用軽量塗材

・

・砂壁状

・こて塗用軽量塗材

・

・平たん状

・再利用する

・新設する

薄型×深さ (mm)

90×150

120×80

120×150

150×80

・図示

材質

・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理: C-1
・C-2
・

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による
・鋼板 (仕上げ:)

57. 塗装改修工事

20. 2. 6

材質

幅 (mm)

取付け工法

端部フラットエンド

・ステンレス製 (SUS304)

・樹脂製ゴムタイヤ入り

・約35

・埋込み工法

・あり

・ステンレス製

・

・

・

・

・なし

・

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる
※ステンレス製 口型 (幅40程度 7.1.5)
・ステンレス製 6×12
・黄銅製 6×12

・集成材手すり

形式

径

材種

仕上

・1段

・35φ

※45φ

・

※タモ

※OL

※2段

※35φ

・

・

・

・

・既製手すり (樹脂製)

形式

径

ブラケット

備考

・O型 (1段)

※40φ

・

アルミ合金製 (心材共)

指づめ防止材共

・O型 (2段)

※34φ

・

・

・

点字表示板 () 箇所
JIS T 0921に基づく点字の表示原則及び点字表示方法による
※ポリカーボネード製 大きさ 120×150程度 厚み 0.1程度
・塩ビ製 大きさ 100×125程度 厚み 0.1程度

58. 耐震改修工事

20. 2. 7

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる
※ステンレス製 口型 (幅40程度 7.1.5)
・ステンレス製 6×12
・黄銅製 6×12

59. 手すり

20. 2. 12

・再利用する

・新設する

形式

操作方法

種類

スラットの材種

スラット幅 (mm)

スラットのレール材種

寸法

取

9

4. 73℃以上含有保温材等の処理

アスベスト含有保温材等の施工調査 ※行う
処理を行うアスベスト含有保温材等の仕様等

材料名	厚さ (mm)	処理を行う範囲
・アスベスト含有保温材	※図示	・
・アスベスト含有耐火被覆板材	※図示	・
・アスベスト含有断熱材	※図示	・

9.3.2

[9.5.2]

フェノールフォームのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外品 ・ 第三種品

材料種	発泡剤の種類	種類	厚さ
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	A種		
・押出法ポリスチレンフォーム保温材	A種	・保温板2種b (一般部)	※25 ・ ()
		・保温板3種b (接地部分)	・ ()
・硬質ウレタンフォーム	A種		
・ポリウレタンフォーム	A種		

9.3.3

既存外壁の処置

既存外壁の仕上材の撤去 ・ 行う

下地面の清掃 ・ 行う

下地面欠損部の改修工法 ()

通気層 ・ 有 (厚さ)

現場発泡断熱材 (A種 1)

難燃性	厚さ (mm)	施工箇所
難燃性を有すること	・ 25	※窓廻り等の断熱材補修部分、8-17cmの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
	・ ()	・

6. 屋上緑化改修工事

9.6.1.2.3

植栽基盤及び材料

屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない

芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 ・

断切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 ・

建設省告示第1458号による風圧力に対応した固定方法

(品質・性能・試験方法)

建築材料等品質性能表による

かん水装置 ・ 設置する (種類 ・)

既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない

支柱 ・ 設置する (種類 ・ 図示 ・)

植栽した芝及び地被類の枯れ保証期間

適用範囲：歩道

9.7.2、3、5～9

既存舗装の撤去及び再利用 ※図示

路床

路床の材料	材料	厚さ (mm)
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示
	・ 建設済地から再生した処理土	・
・ 遮断層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)	・ 図示
	・	・
・ 凍土抑制層	・ 再生スラック ・ ラップ ・ 切込み砂利	・ 図示
	・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)	・
	・	・
・ フィルター層	・ 砂	・ 図示
	・	・

路床安定処理

・ 添加材料による安定処理

種類

・ 普通ポルトランドセメント

・ フライアッシュセメントB種

・ 高炉セメント

・

添加量

kg/m (目標CBR ・ 5以上 ・)

・ ジオテキスタイル

単位面積質量

・ 60g/m²以上

・

厚さ (mm)

・ 0.5～1.0

・

引張強度

・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上

・

透水係数

・ 1.5×10⁻⁶ cm/sec以上

・

試験

砂の粒度試験

・ 行う ・ 行わない

路床の支持力比 (CBR) 試験

・ 行う ・ 行わない

路床締固めの試験

・ 行う ・ 行わない

路盤

路盤の構成及び厚さ

・ 図示 ・

路盤材料

※再生材のクラッシュラン

・ クラッシュラン鉄鋼スラグ

・

・ 図示

舗装

材料	厚さ (mm)
ストレートアスファルト	・ 図示 ・ 30

試験

透水性アスファルト混合物等の抽出試験

※行う ・ 行わない

舗装の平坦性

※著しい不陸がないもの ・

22.7.2～6

8. 排水性アスファルト舗装

区分	種類	材料	厚さ (mm)
表層	・ 排水性舗装用アスファルト混合物	・ 8-17mm改質アスファルトⅡ型	・ 40
	・	・	・ 図示
基層	・ 加熱アスファルト混合物等 (密粒アスファルト混合物)	・ 再生アスファルト	

| | ・ | ・ ストレートアスファルト | ・ 図示 |

舗装の平坦性

※著しい不陸がないもの ・

試験

アスファルト混合物等の抽出試験

※行う ・ 行わない

9

9. 路盤

路盤の構成及び厚さ

・ 図示 ・

路盤材料

・ 砕石 0-40

・ 再生クラッシュラン

RC-40

・ クラッシュラン鉄鋼スラグ

CS-40

・

・ 図示

試験

路盤締固めの試験

※行う ・ 行わない

アスファルト舗装の構成及び厚さ

※図示 ・

材料

アスファルト

※ 再生アスファルト

・ ストレートアスファルト

骨材

・ 道路用砕石

・ アスファルトコンクリート再生骨材

加熱アスファルト混合物等の種類

区分	地域	種類
表層	・ 一般地域	・ 密粒度アスファルト混合物 (13)
		・ 細粒度アスファルト混合物 (13)
基層	一般地域	粗粒度アスファルト混合物 (20)

シールコートの施工

・ 行う ・ 行わない

試験

アスファルト混合物等の抽出試験

・ 行う ・ 行わない

舗装の平坦性

※通行の支障となる水たまりを生じない程度

・

11. PCB含有シーリング材

建築物解体仕様書 [5.4.4]

・ サンプルの採取 (1次分析用)

現場においてサンプルを採取する

採取箇所

※外壁目地

・ 図示 ・ ()

採取箇所数

※部材が異なる毎に1箇所

・ ()箇所

・ サンプルの採取 (2次分析用)

現場においてサンプルを採取する

採取箇所

※外壁目地

・ 図示 ・ ()

採取箇所数

※部材が異なる毎に1箇所

・ ()箇所

・ 実施者より貸与する

分析回数

・ ()箇所

1) 採取作業はシーリング等が散逸することのないよう注意して行う

2) シーリング材は目地に打設されている形状のまま5cm程度をカッターナイフで切断し、ただちにポリエチレン製の密封袋に保管し、No.及び採取場所を記入する。サンプルは1袋に1つずつ入れること。

3) カッターナイフの刃は、1つのサンプルを採取する毎に新しい部分に換えること。

4) シーリング材を切除した部分は必要に応じて補修すること。補修材料は特記仕様書による。

5) 皮膚との接触等を避けるため保護手袋及び保護マスクを着用する。

6) 休憩時及び作業終了後には必ず手洗いをを行う。

7) 作業後は周囲を清掃し、散逸物を回収する。回収物はサンプリング残渣とその他のごみに分別し、サンプリング残渣と同様にポリエチレン製の密封袋に入れる。

・ サンプルの分析

・ 1次分析 (シーリング種類の調査)

「シーリング材種判定及びPCB含有分析の要否判定依頼書」を作成し、採取したサンプルと併せて日本シーリング材工業会に送付し、分析を行うこと。

・ 2次分析 (PCB含有率調査)

専門分析機関にサンプルを送付しPCB含有分析を行うこと。

・ 施工調査等

調査範囲

※図示 ・ ()

処分にあたり、あらかじめ次の事項について調査を行うこと

シーリング使用部位の確認

シーリング長さの確認

施工範囲と工事管理区分の確認

仮設計画

廃棄物の搬出方法

・ 除去処理工事

PCBを含有したシーリング材の処理は次によるほか、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (昭和45年法律137号)」並びに「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法 (平成13年法律65号)」により適切に行うこと。

1) 工事に先立ち施工計画書を作成し、監督職員の承認を得ること。

2) シーリング材の散逸防止として、床面、開口部、換気口等に養生を行い、作業区域からの飛散防止措置をとること。

3) 作業中は保護マスク及び保護手袋を着用すること。

4) シーリング材はカッターナイフ等を用い、下地が露出するまで極力切除する。

5) 除去工事後は、シーリング材及び散逸物を回収しポリエチレン製の密閉袋に入れ保管容器に入れること。保管容器の形状、材質等は保管量、保管場所を考慮し、監督職員の承認を得たものとする。

6) 除去及び回収状況について監督職員の検査を受けること。

7) 工事着工後、設計図書によりがたい場合、又は不測の事象が発生した場合は監督職員と協議する。

別表-1

設備工事との工事区分表

○印は本工事範囲とする

工 事 内 容		本 工 事	電気設備工事	機械設備工事	
機 器 の 基 礎	電 気 関 係	配電盤・制御盤の基礎	屋内		
			屋外		
		屋上			
	機 械 関 係	テレビアンテナ基礎			
		避雷針の基礎			
		特記した基礎			
	屋内設備				
	屋上設備 (梁台、アンカーボルトを除く)				
	屋外設備 ()				
	梁台・アンカーボルト				
開 口 部	梁、床、壁	補強を要するもの			
	貫通スリーブ	補強を要しないもの			○
	梁、床、壁	補強を要するもの			
	貫通部型枠	補強を要しないもの	○		
	軽量鉄骨下地壁・天井板類の切込	補強を要するもの	○		
		補強を要しないもの (アウトレットボックスは除く)	○	○	
	埋込形分電盤、端子盤等の型枠	補強を要するもの			
		補強を要しないもの			
	上記開口部の差出し				○
	上記開口部の補強		○		
	スリーブの穴埋め (型枠の穴埋めを含む)				○
	OAフロアー配線器具用				
点 検 口	床、壁、天井	○			
外 部 取 付 ガラリ	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む				
防 油 堤	オイルサービスタンクの防油堤、タンク基礎				
床下水槽のマンホールふた					
ガス漏れ検知器					
消火栓組込み機器収納箱内配線整理用端子板					
湯沸室の排気フード					
換 気 扇	本体			○	
	取付枠				
流 し 台	本体 (排水トラップ共)				
	水栓				
浴 槽					
身障者用便所手すり				○	
電 気 配 管 配 線	機器付属の制御盤以降の配管配線 (接地共)				
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線				
	自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線				
	自動制御盤と動力盤との制御回路の渡り配管配線				
	機器と付属操作スイッチ等との渡り配線				
	機器と付属操作スイッチ等との渡り配管				
	機器と付属操作スイッチ				
	機器と付属操作スイッチの埋込ボックス				
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパー及び排煙口に至る配管配線				
	小便器用節水装置制御盤以降の配管配線				
シ ス テ ム 天 井	ボード・カバー				
	照明ライン設備プレート				
	空調ライン設備プレート				
	電気錠及び通電金具				
電 気 錠	テンキー及び制御盤				
浄 化 槽	杭工事				
	土工事				
	基礎工事				
	電気工事				
水送りモーターメーターの配線					
水送りモーターメーターの配線の結線と調査					

工事名称

事務棟2階トイレ改修工事

図面名称

特記仕様書 (建築改修) その6

(有)白濱建築設計事務所

1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳

縮 尺

A2: ———

A3: ———

令和 3 年 - 月 - 日

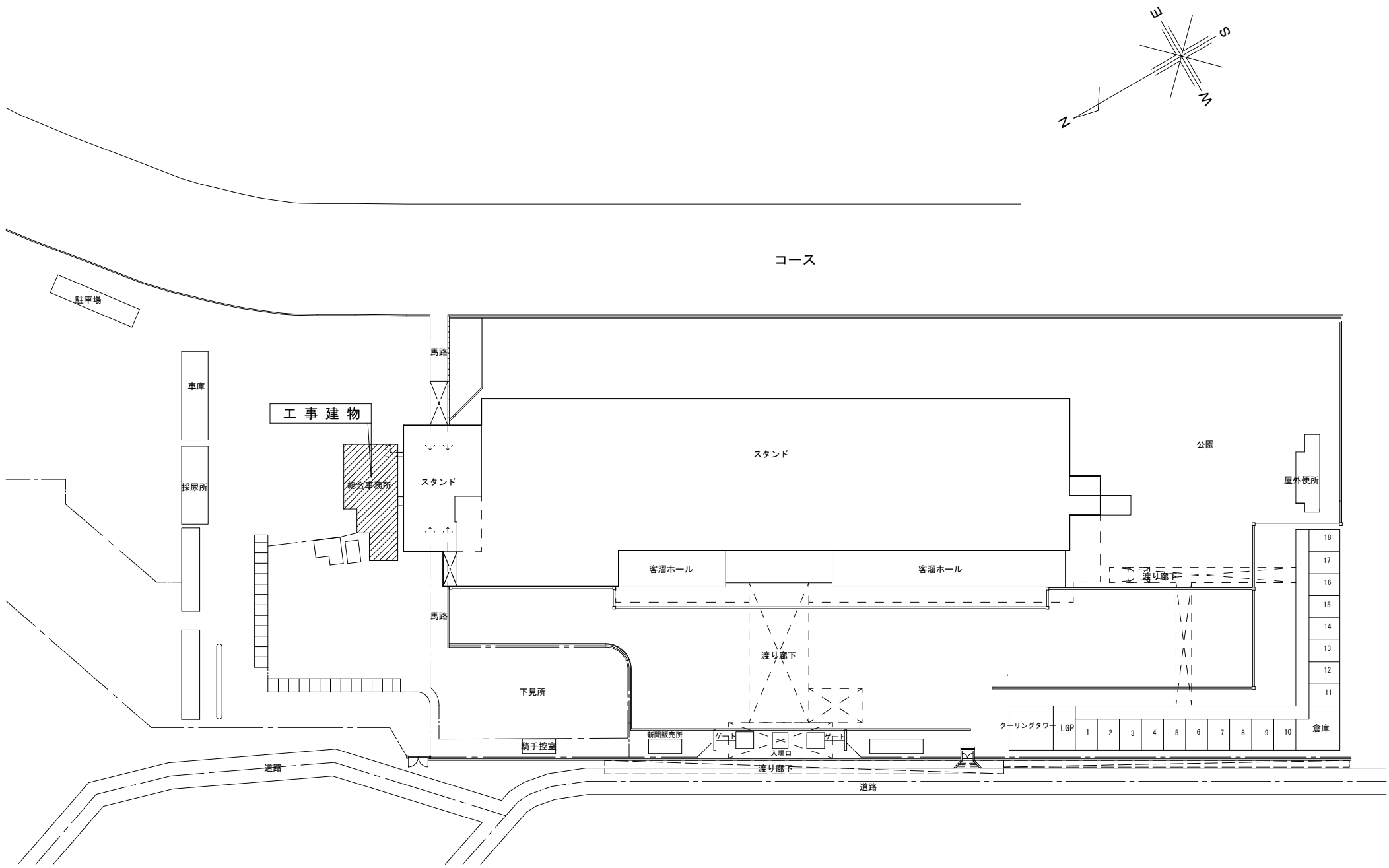
図面番号

D / 07



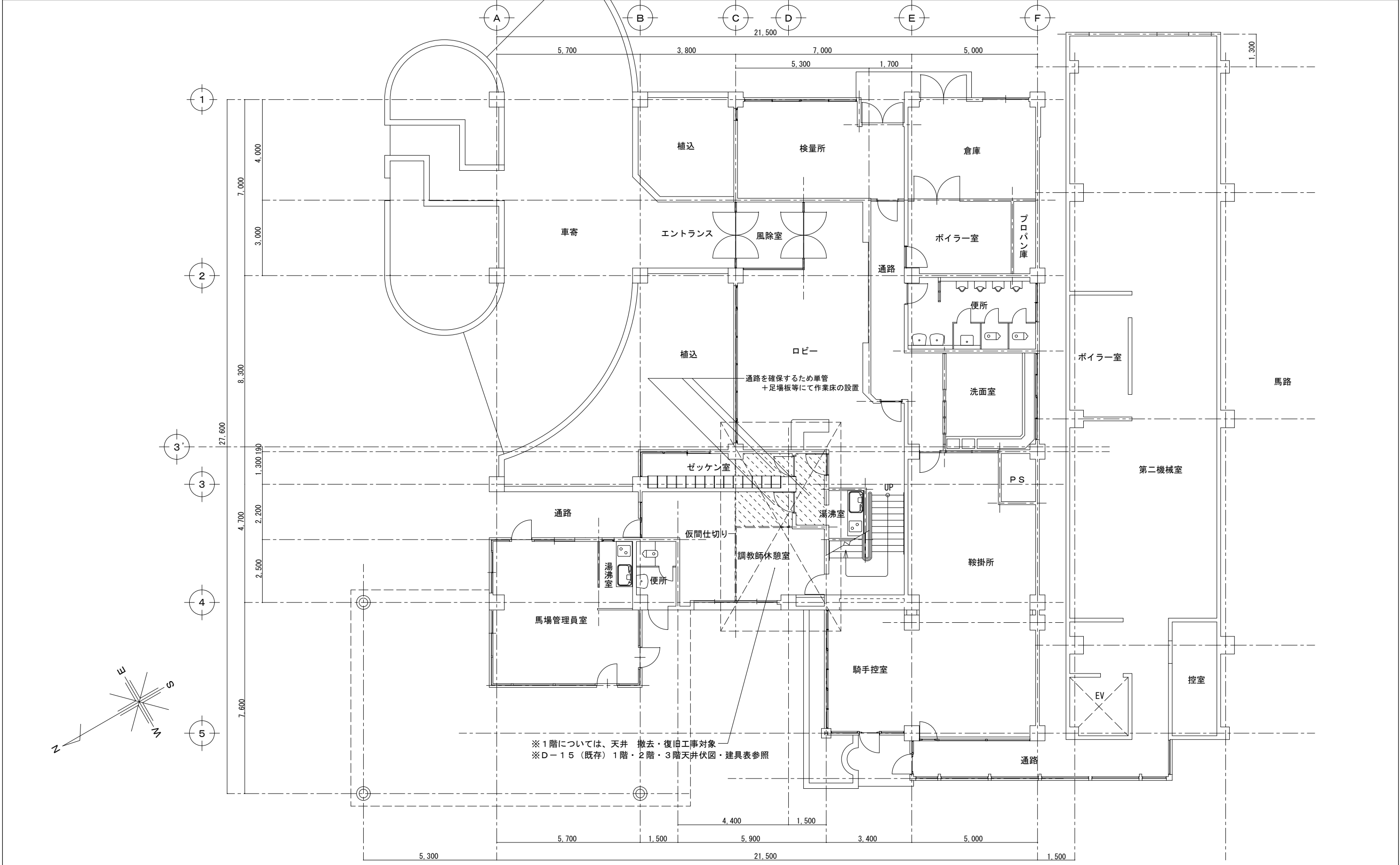
工事場所

付近見取図

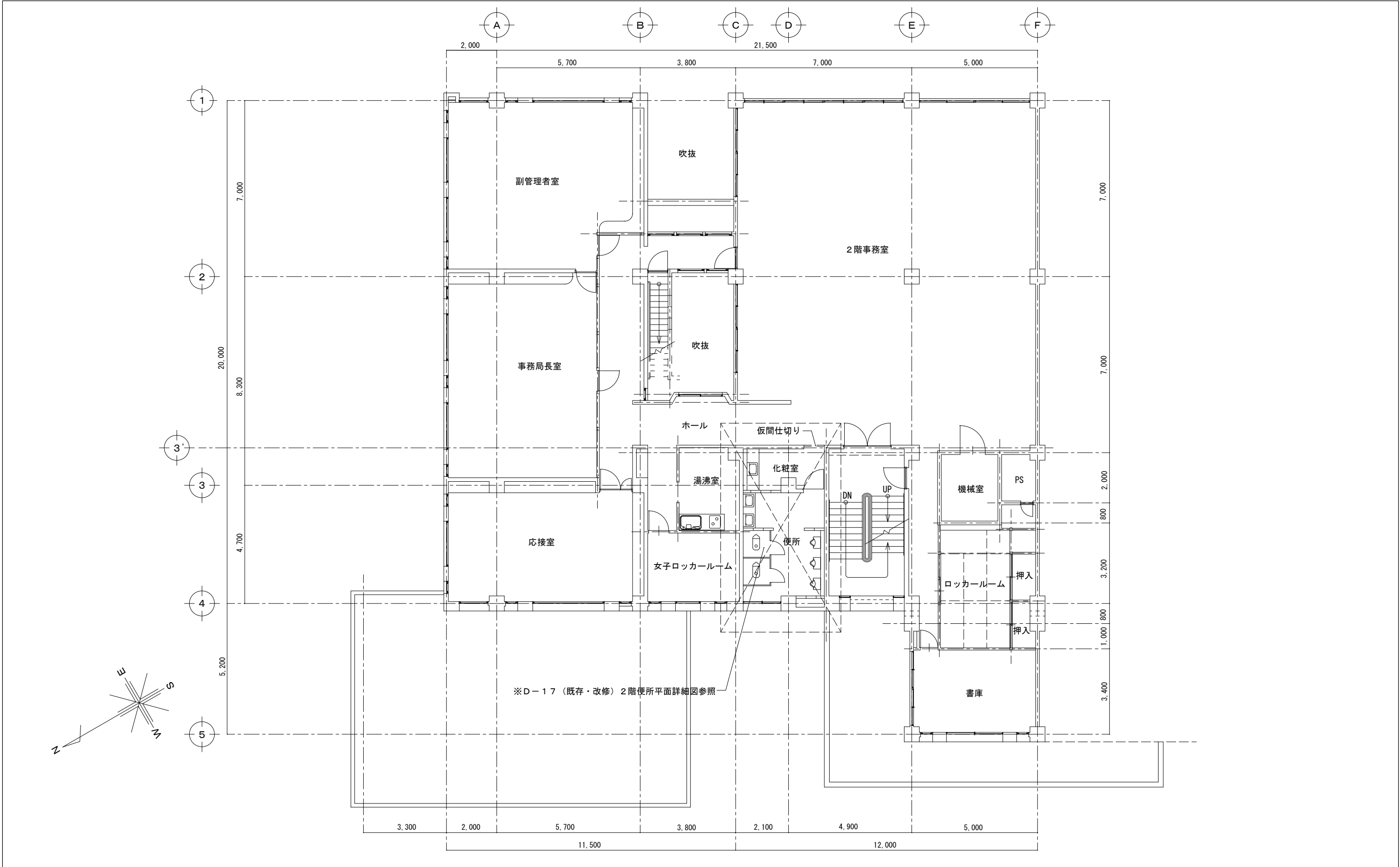


配置図 1 : 800

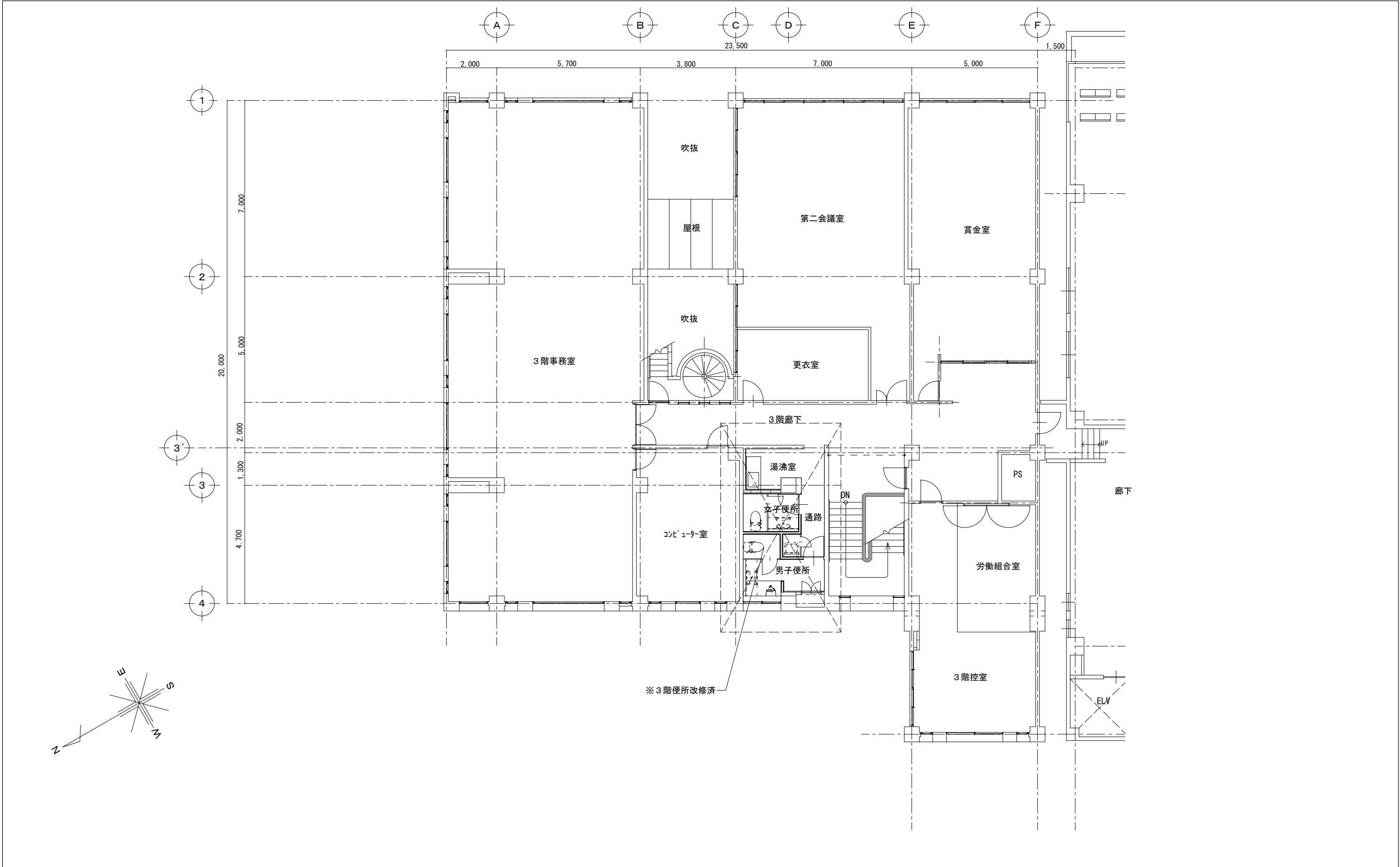
			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/800	D
			図面名称		A3 : 71%縮小	08
			付近見取図・配置図		令和 3 年 - 月 - 日	



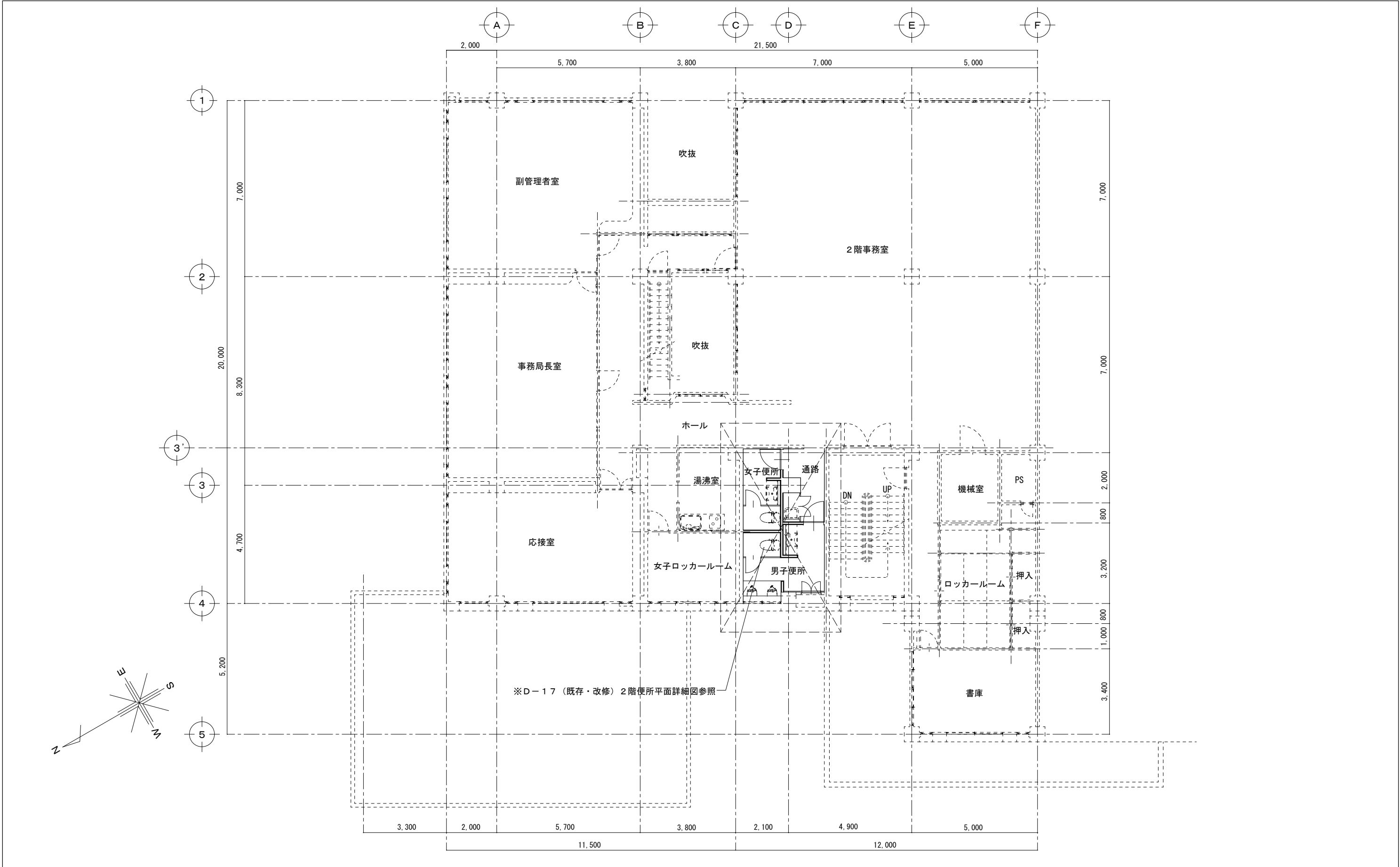
			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	D
			図面名称		A3 : 71%縮小	09
			(既存) 1階平面図		令和 3 年 - 月 - 日	



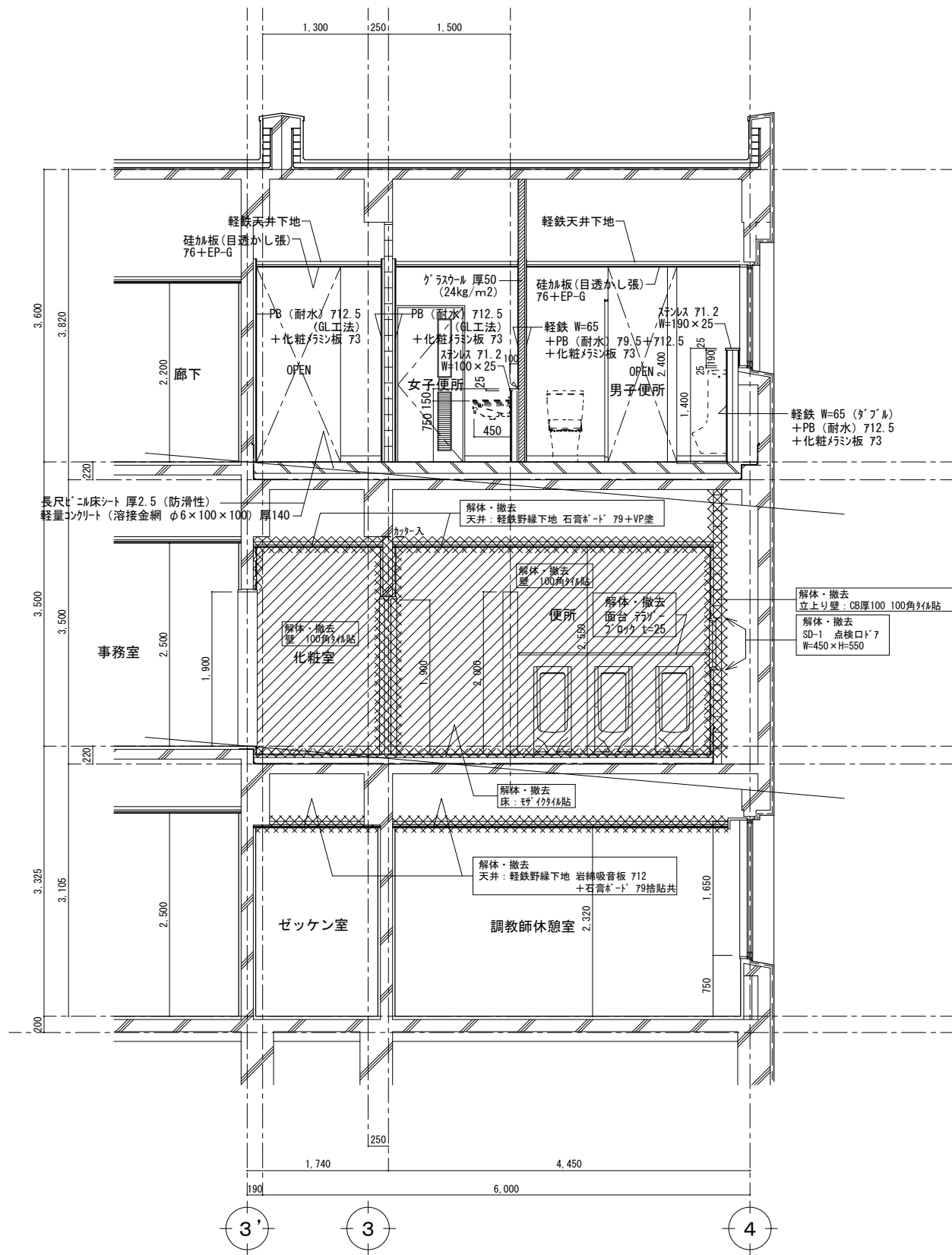
			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	D
			図面名称		A3 : 71%縮小	10
			(既存) 2階平面図		令和 3 年 - 月 - 日	



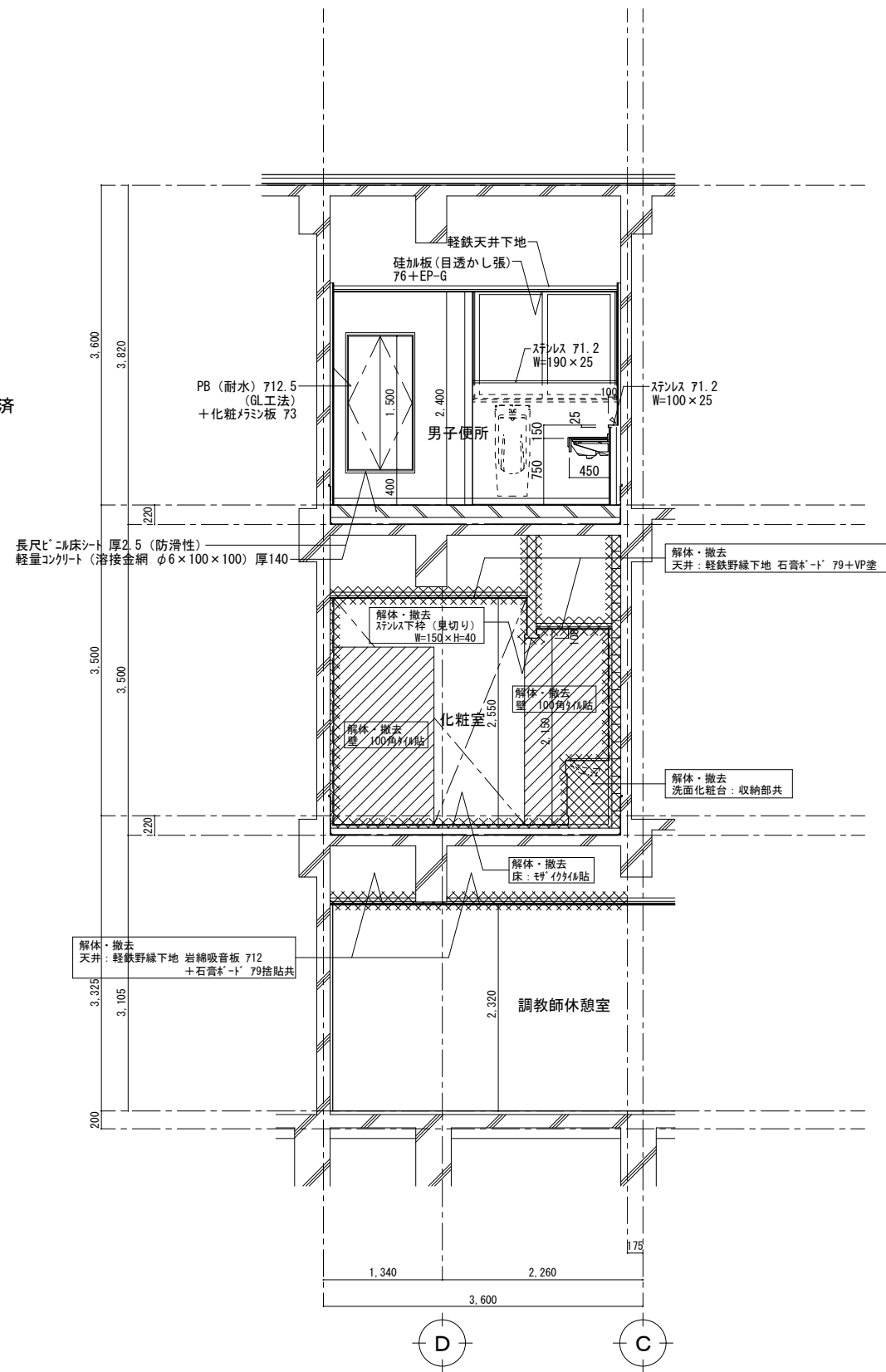
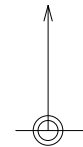
			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	D
			図面名称		A3 : 71%縮小	1 1
			(既存) 3階平面図		令和 3 年 - 月 - 日	



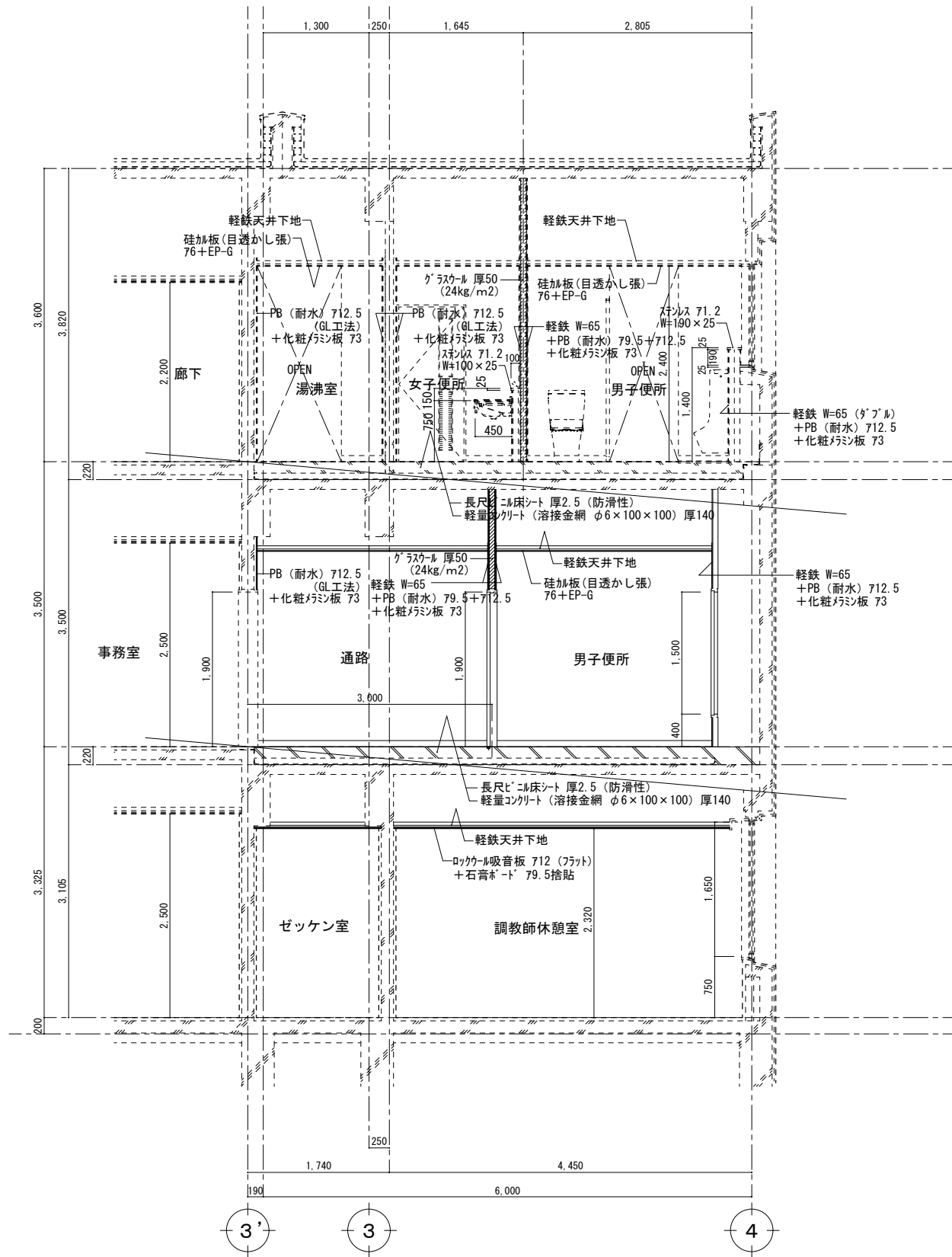
			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	D
			図面名称		A3 : 71%縮小	1 2
			(改修) 2階平面図		令和 3 年 - 月 - 日	



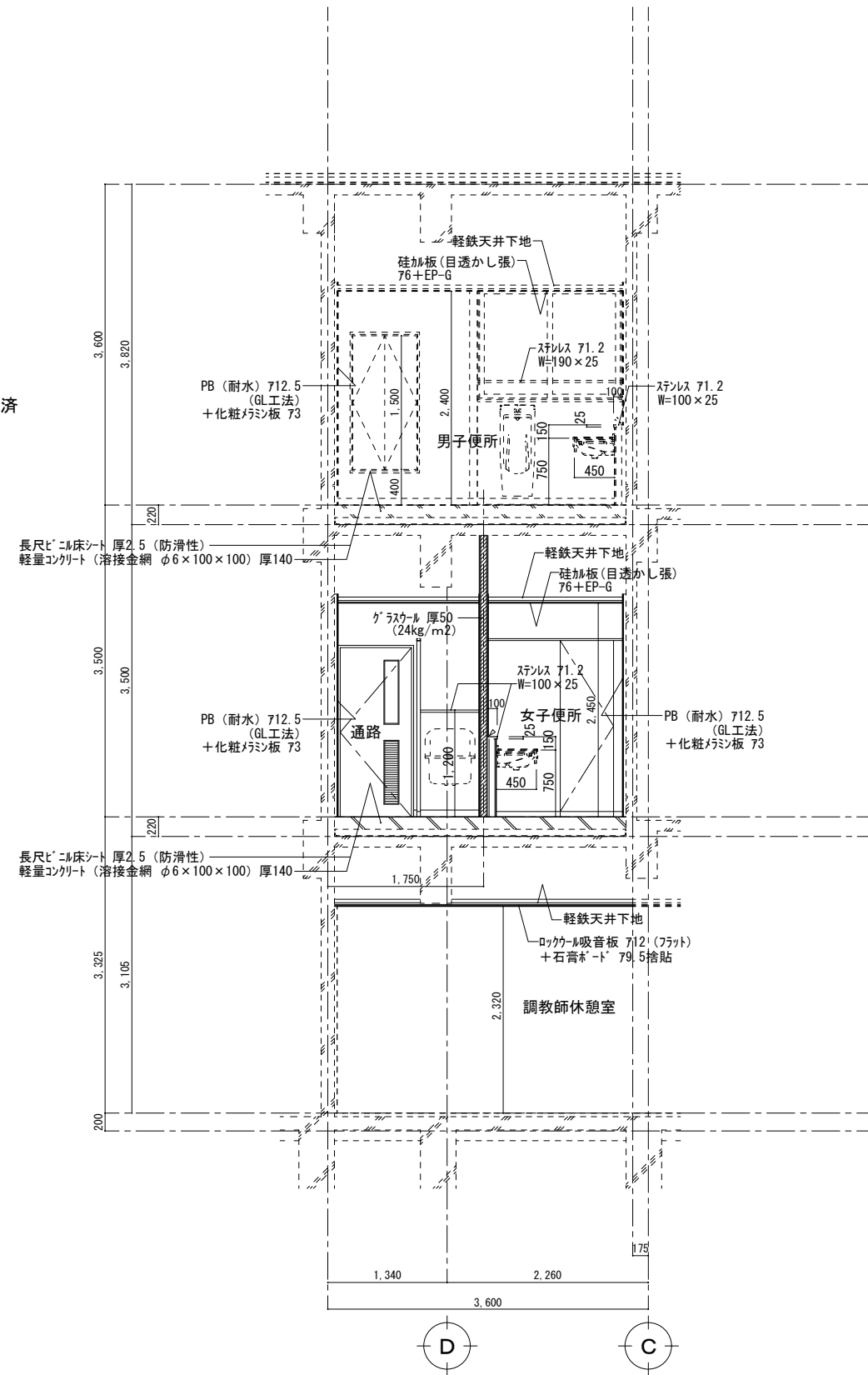
3階トイレ改修済



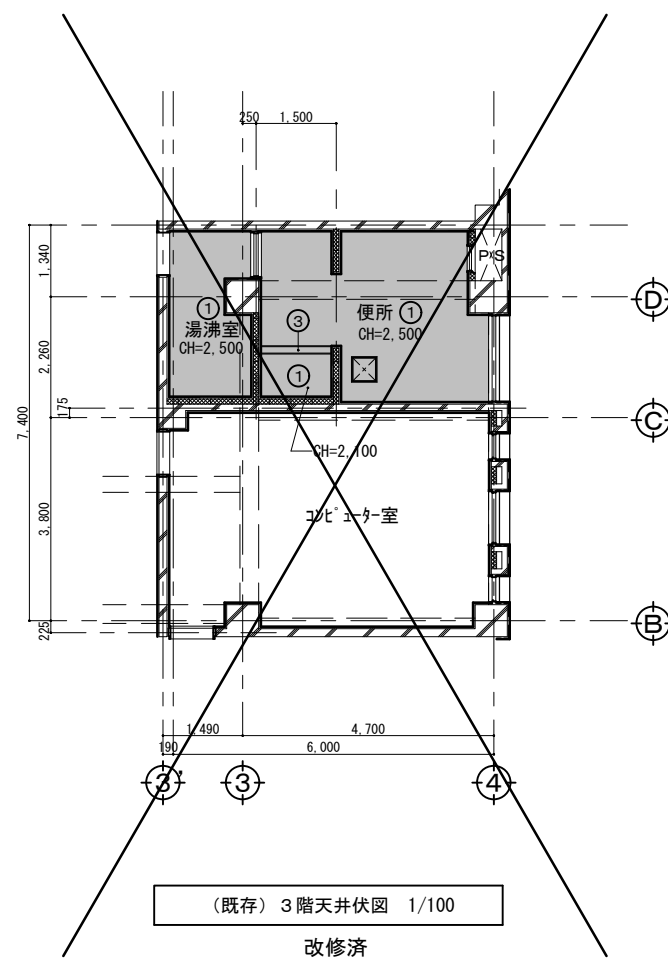
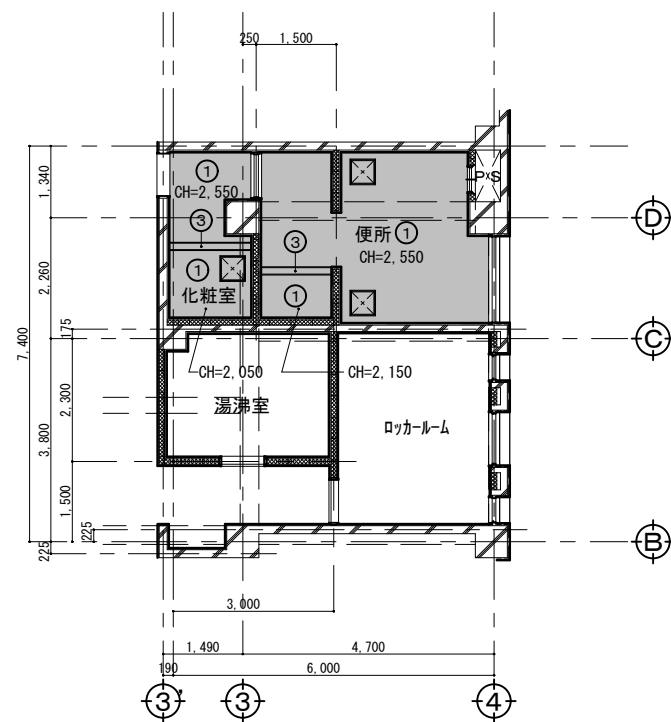
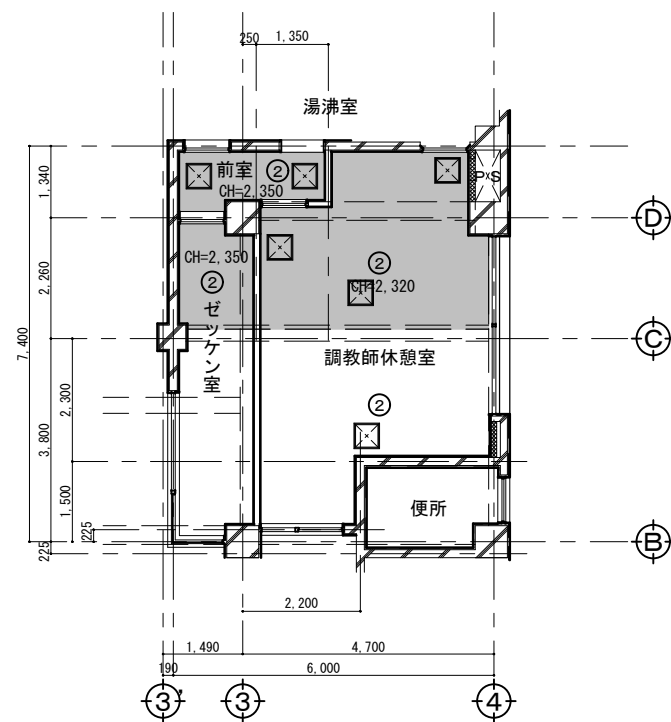
		工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
		事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/50	D
		図面名称		A3 : 71%縮小	13
		(既存)便所矩計図		令和3年 - 月 - 日	




3階トイレ改修済



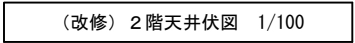
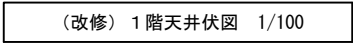
			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/50	D
			図面名称		A3 : 71%縮小	1 4
			(改修) 便所矩計図		令和 3 年 - 月 - 日	




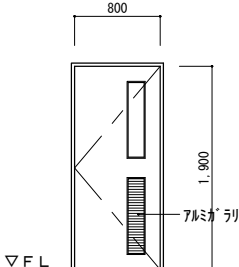
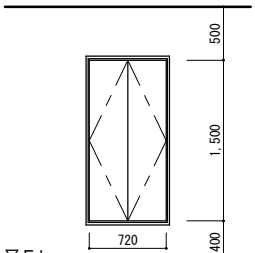
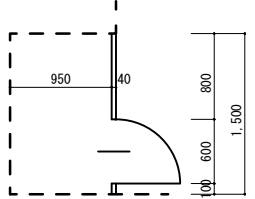
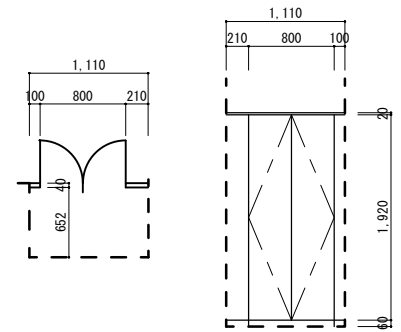
凡 例		
①	石膏* -ド* 79 (塩ビ廻り縁)	LGS
②	岩綿吸音板 712+石膏* -ド* 79捨貼 (塩ビ廻り縁)	LGS
③	ステンレス下枠 (見切り) W=150×H=40	
	アル製天井点検口 450mm×450mm	

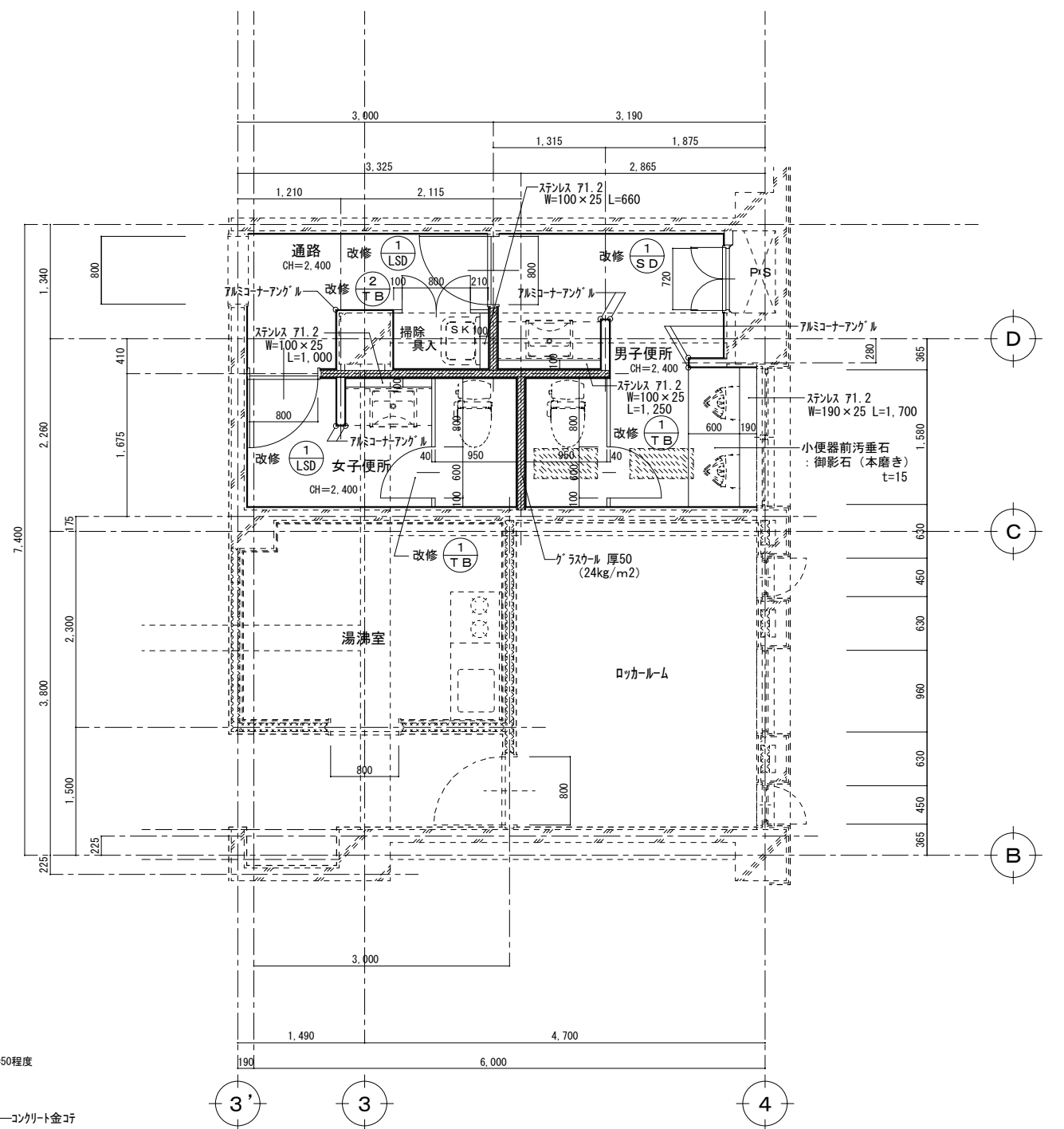
・・・天井 解体・撤去範囲を示す

符号	数量	撤去	<div>1WD</div>	1	撤去	<div>2WD</div>	2		撤去	<div>1SD</div>	1		
撤去建具													
	型式	材質	片開きドア	木製	片開きドア（ブース）	木製			点検口ドア	スチール製			
	使用ヶ所	2階便所			2階便所				2階便所				
	硝子	仕上	ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ								
	額縁	見込	木製3方枠共撤去		40				スチール4方枠共撤去				
金物													
備考													
									工事名称	(有)白濱建築設計事務所		縮尺	図面番号
									事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳		A2 : 1/100	D
									図面名称			A3 : 71%縮小	15
									(既存) 1階・2階・3階天井伏図・建具表			令和 3 年 - 月 - 日	



凡 例		
(A)	無石棉繊維強化石膏板（目透し貼）厚6+EP-G塗り （塩ビ廻り縁）	LGS
(B)	ロックウール吸音板 712（フラット）＋石膏ボード 79.5捨貼 （塩ビ廻り縁）	LGS
	7M製天井点検口 450mm×450mm ※位置については現場にて、設備と協議の上で 決定する。	

符号	数量	改修	1 LSD	2	改修	1 SD	1	改修	1 TB	2	改修	2 TB	1			
新規建具																
	型式	材質	片開きドア	鋼製軽量建具 スチール 70.6	両開き戸（点検口）	スチール 71.6	トイレブース	フラッシュ（ベーパーコート下地）	トイレブース	フラッシュ（ベーパーコート下地）						
	使用ヶ所	2階（男・女）便所出入口			2階男子便所			2階（男子・女子）便所			2階通路掃除具入					
	硝子	仕上	型板ガラス 74	焼付塗装		SOP		メラミン樹脂化粧合板フラッシュ		メラミン樹脂化粧合板フラッシュ						
	額縁	見込	スチール製 71.6 3方枠	厚：38 枠：120		80		40		40						
金物	レバーハンドル・ドアチェック・ステンレス丁番・戸当り			ステンレス丁番・点検口用錠・付属金物一式			7&ミエジ・ステンレス巾木・表示錠・SUS頭ツギ 40×20・壁付金物			7&ミエジ・ステンレス巾木・表示錠・SUS頭ツギ 40×20・壁付金物						
備考	付属金物一式						ステンレス丁番・ラッチ錠・ステンレス取手・ステンレス把手・帽子掛戸当り・付属金物一式			ステンレス丁番・ラッチ錠・ステンレス取手・ステンレス把手・付属金物一式						
							工事名称			(有)白濱建築設計事務所			縮 尺		図面番号	
							事務棟 2階トイレ改修工事			1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳			A2：1/100		D	
							図面名称						A3：71%縮小		1 6	
							(改修) 1階・2階・3階天井伏図・建具表						令和 3 年 - 月 - 日			



(改修) 2階便所平面案 1/50

あと施工アールD10 @200 (金属系) L=450

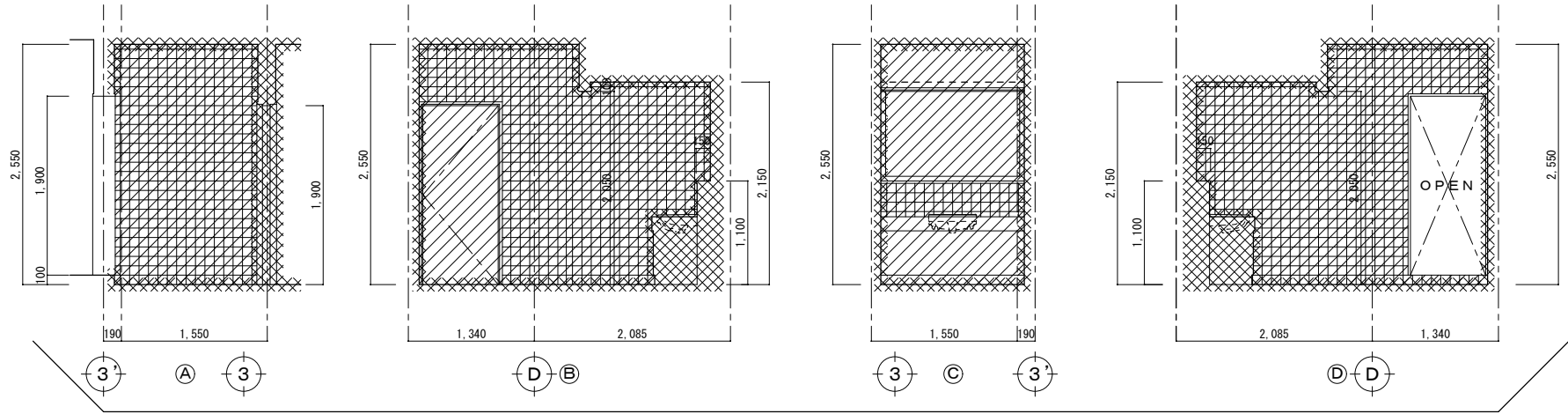
溶接金網 $\phi 6 \times 100 \times 100$
コンクリート Fc-21+6N/mm² S-15

和便器撤去跡床ふさぎ詳細図 1/30

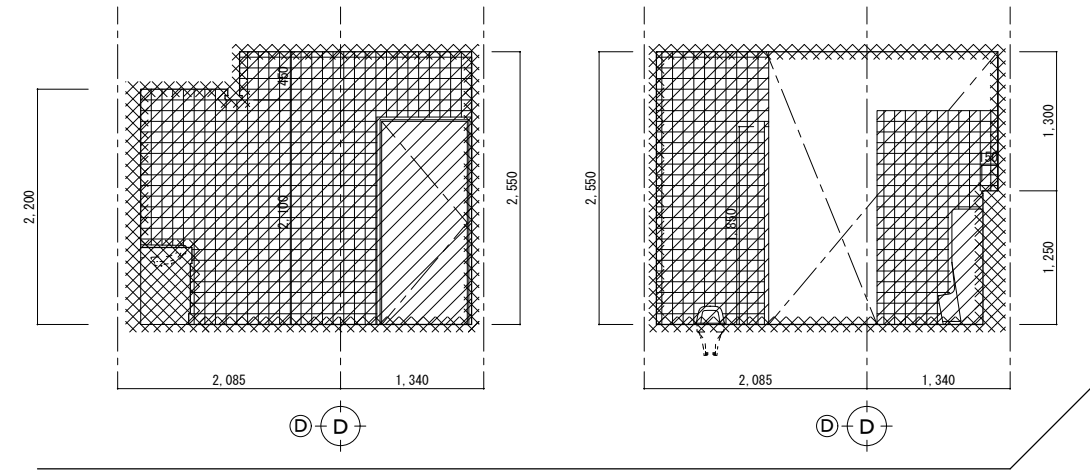
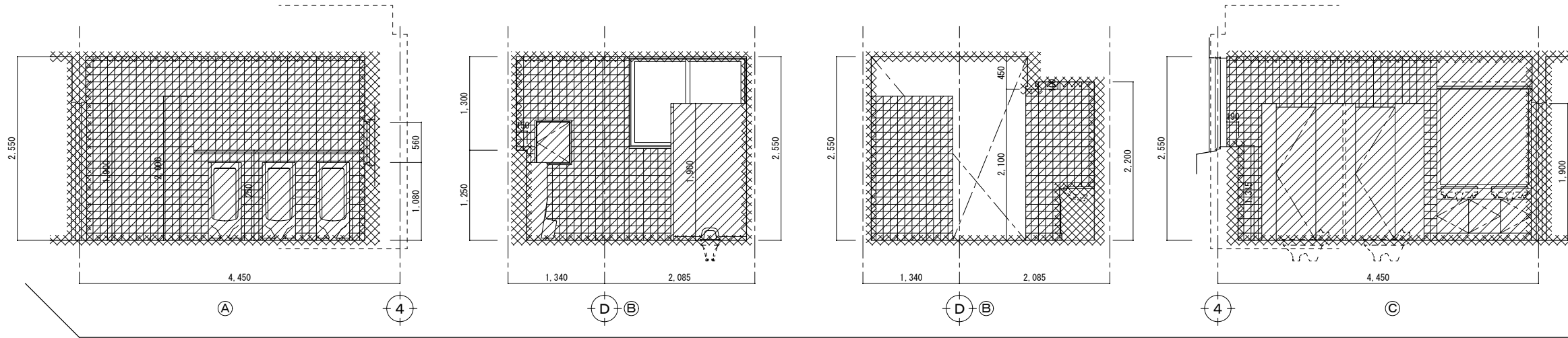
更所スラブ 開口 (2ヶ所)

			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/30・50	D 17
			図面名称		A3 : 71%縮小	
			(既存・改修) 2階便所平面詳細図		令和 3 年 - 月 - 日	

室 名	2 階化粧室
床	ｱｽﾌﾙﾄ防水（6層）＋軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ 750 ＋磁器質ﾏﾂｲﾀｲﾙ貼（解体・撤去 軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ残し）
巾 木	
壁	半磁器質100角ﾀｲﾙ貼（解体・撤去） 下り壁：軽鉄下地＋石膏ﾎｰﾄﾞ 79＋OP（解体・撤去）
天 井	軽鉄下地（吊りﾎﾞﾙﾄ流用） 石膏ﾎｰﾄﾞ 79（ｼﾞｮｲﾝﾄ工法）＋OP（解体・撤去）
備 考	ﾗｲﾅﾝｸﾞ：ﾃﾗｽﾞﾌﾞﾛｯｸ 725 W=150（解体・撤去） 洗面化粧台（解体・撤去）

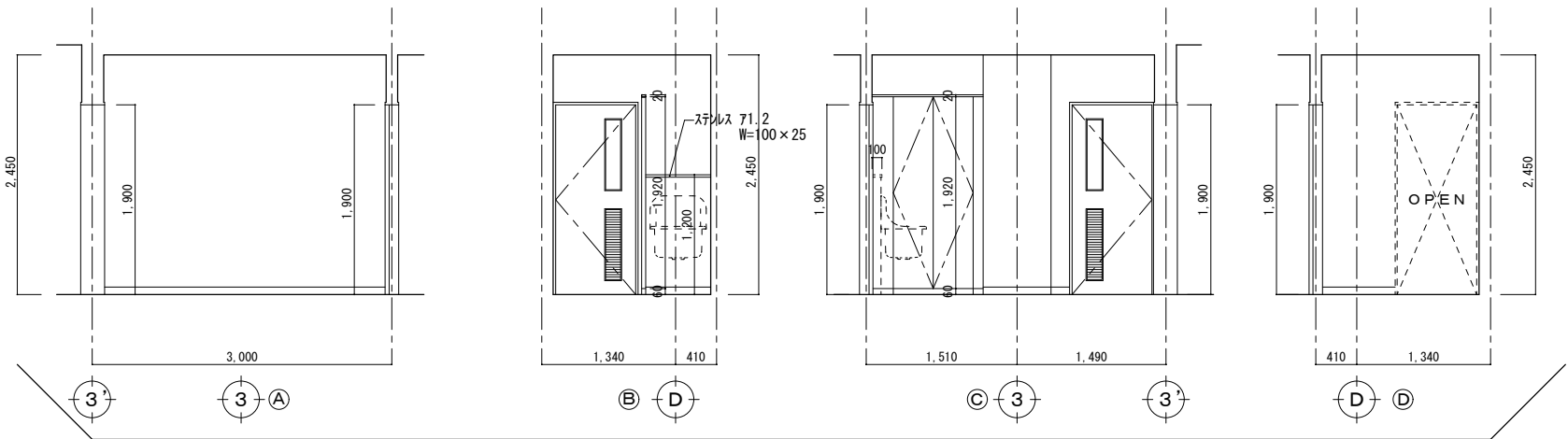


室 名	2 階便所
床	ｱｽﾌﾙﾄ防水（6層）＋軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ 750 ＋磁器質ﾏﾂｲﾀｲﾙ貼（解体・撤去 軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ残し）
巾 木	
壁	半磁器質100角ﾀｲﾙ貼（解体・撤去） 下り壁：軽鉄下地＋石膏ﾎｰﾄﾞ 79＋OP（解体・撤去）
天 井	軽鉄下地（吊りﾎﾞﾙﾄ流用） 石膏ﾎｰﾄﾞ 79（ｼﾞｮｲﾝﾄ工法）＋OP（解体・撤去）
備 考	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ：ﾃﾗｽﾞﾌﾞﾛｯｸ 740（解体・撤去） ﾗｲﾅﾝｸﾞ：ﾃﾗｽﾞﾌﾞﾛｯｸ 725 W=190・W=150（解体・撤去） 洗面化粧台（解体・撤去） ※ 便所内設備器具はすべて解体・撤去（ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ共）



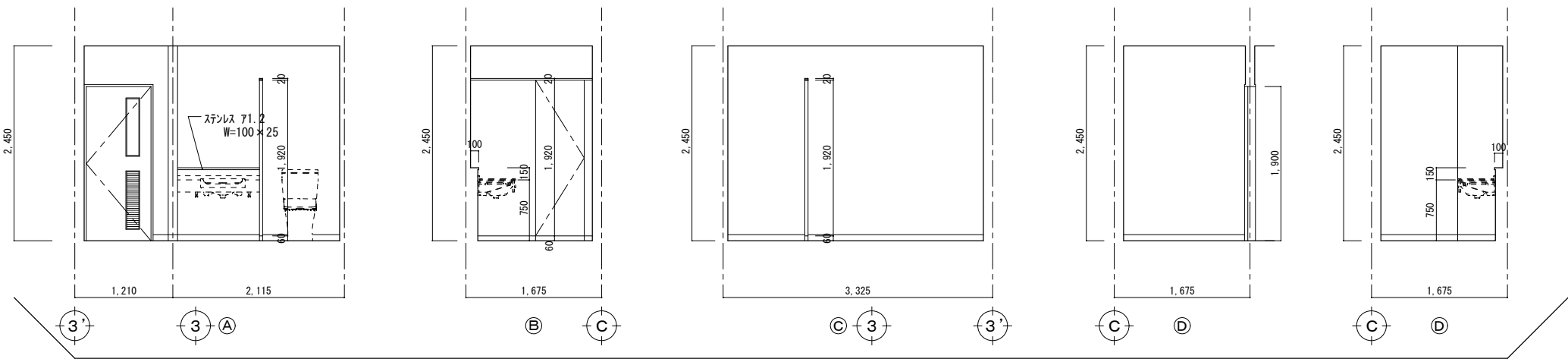
		工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
		事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/50	D
		図面名称		A3 : 71%縮小	1 8
		(既存) 2階便所展開図		令和 3 年 - 月 - 日	

室 名	2 階便所通路
床	長尺ビニル床シート 厚2.5（防滑性） （耐湿工法） ＋軽量コンクリート（溶接金網 φ6×100×100）厚140
巾 木	ソト巾木 H=75
壁	PB（耐水）712.5（GL工法）＋化粧タタミ板 73 （LGS W=65型下地） PB（耐水）712.5＋化粧タタミ板 73 （LGS W=65型下地：ｽｽﾞﾞ下ﾏﾃﾞ） 通路～便所間 PB（耐水）79.5＋712.5（ｽｽﾞﾞ下ﾏﾃﾞ）＋化粧タタミ板 73
天 井	LGS 19型下地（吊りボルト流用） 珪加板（目透かし張）76＋EP-G（塩ビ 廻り縁）
備 考	SK（設備）・掃除用具入 ライニング：ｽﾃﾝﾚｽ 71.2 W=100×25 トイレース



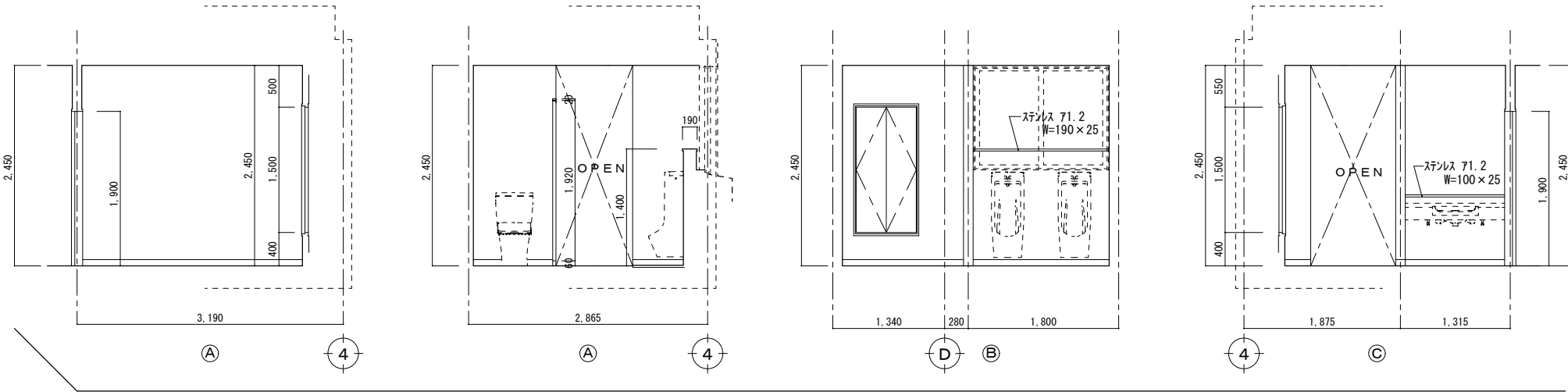
※ 通路～便所間間仕切り壁は グラスブロック 750（24kg/m2）

室 名	2 階女子便所
床	長尺ビニル床シート 厚2.5（防滑性） （耐湿工法） ＋軽量コンクリート（溶接金網 φ6×100×100）厚140
巾 木	ソト巾木 H=75
壁	PB（耐水）712.5（GL工法）＋化粧タタミ板 73 （LGS W=65型下地） PB（耐水）712.5＋化粧タタミ板 73 （LGS W=65型下地：ｽｽﾞﾞ下ﾏﾃﾞ） 便所間・通路～便所間 PB（耐水）79.5＋712.5（ｽｽﾞﾞ下ﾏﾃﾞ）＋化粧タタミ板 73
天 井	LGS 19型下地（吊りボルト流用） 珪加板（目透かし張）76＋EP-G（塩ビ 廻り縁）
備 考	手洗いかounter（設備） ライニング：ｽﾃﾝﾚｽ 71.2 W=100×25 トイレース



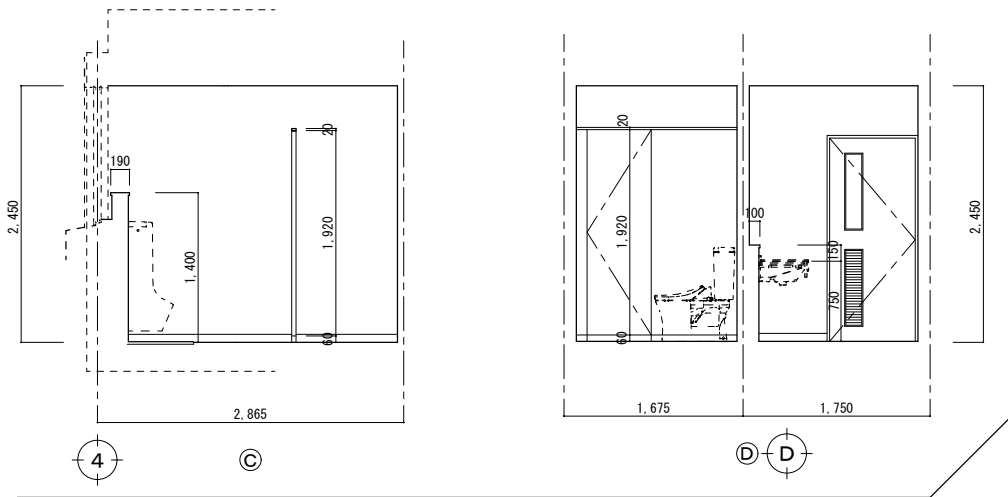
※ 便所間・通路～便所間間仕切り壁は グラスブロック 750（24kg/m2）

室 名	2 階男子便所
床	長尺ビニル床シート 厚2.5（防滑性） （耐湿工法） ＋軽量コンクリート（溶接金網 φ6×100×100）厚140 小便器前汚垂石：御影石（本磨き）t=15
巾 木	ソト巾木 H=75
壁	PB（耐水）712.5（GL工法）＋化粧タタミ板 73 （LGS W=65型下地） PB（耐水）712.5＋化粧タタミ板 73 （LGS W=65型下地：ｽｽﾞﾞ下ﾏﾃﾞ） 便所間・通路～便所間 PB（耐水）79.5＋712.5（ｽｽﾞﾞ下ﾏﾃﾞ）＋化粧タタミ板 73
天 井	LGS 19型下地（吊りボルト流用） 珪加板（目透かし張）76＋EP-G（塩ビ 廻り縁）
備 考	手洗いかounter（設備） ライニング：ｽﾃﾝﾚｽ 71.2 W=190×25・W=100×25 トイレース

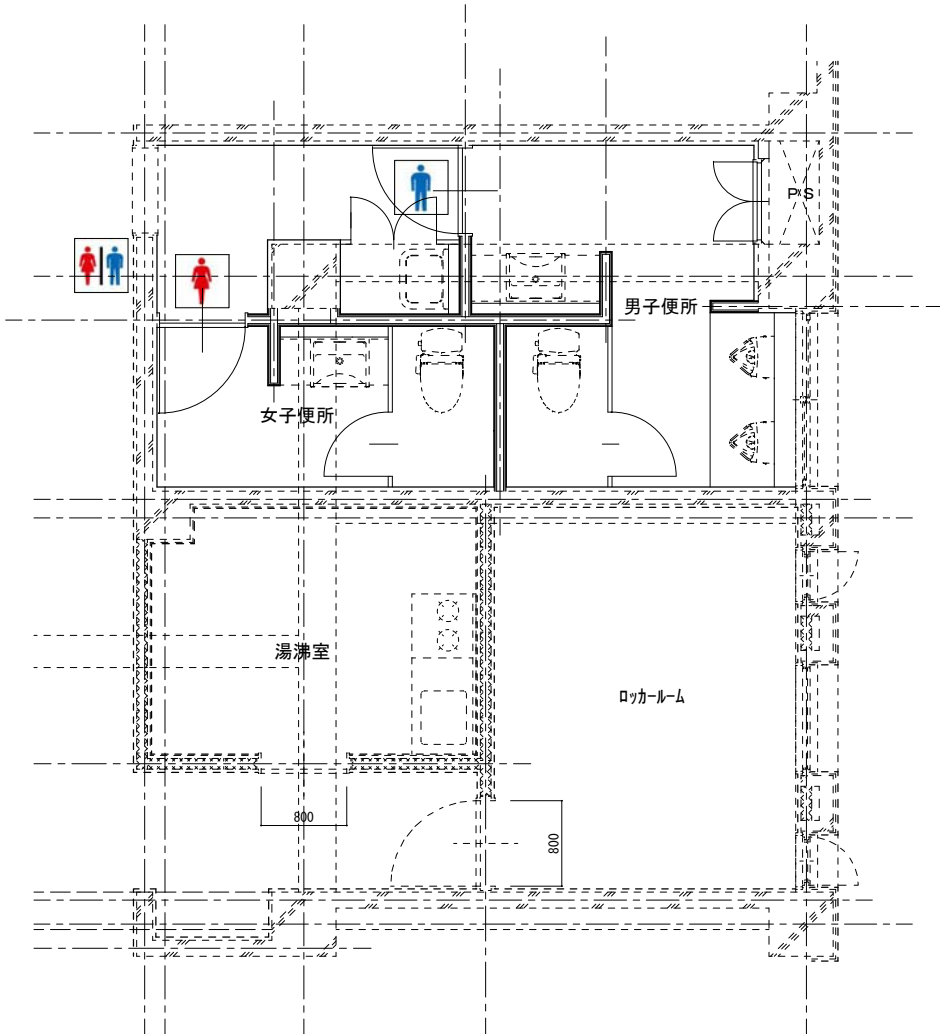
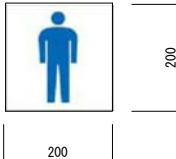
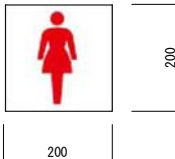
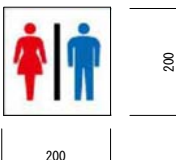


※ 便所間・通路～便所間間仕切り壁は グラスブロック 750（24kg/m2）

		工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
		事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2：1/50	D
		図面名称		A3：71%縮小	19
		(改修)2階便所展開図ー1		令和3年ー月ー日	



			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟 2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/50	D
			図面名称		A3 : 71%縮小	20
			(改修) 2階便所展開図ー2		令和 3 年 - 月 - 日	

<div></div> <div>2階 サイン配置図 1/50</div>			トイレサイン詳細			1/10
			男子便所		女子便所	
			(2階) 入口正面 (平付 1ヶ所) 高さ FL+1500 (芯)		(2階) 入口正面 (平付 1ヶ所) 高さ FL+1500 (芯)	
			表示基盤：アクリル板 t=5 UV印刷 (ピクト) 		表示基盤：アクリル板 t=5 UV印刷 (ピクト) 	
			便所案内板		便所案内板	
			通路からの入口右側壁面 (平付 1ヶ所) 高さ FL+1500 (芯)			
			表示基盤：アクリル板 t=5 UV印刷 (ピクト) 			
			便所案内板			

[illegible]

2 特記仕様

(1) 項目は、番号に●印のついたものを適用する。

(2) 特記事項のうち複数の項目から選択する事項は、○に印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
● 材料・機材の品質等	(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常劣りなき品質及び性能を有するものとする。 (2) 本工事において採り示す材料は使用する場合の材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥までの事項を満たすものとし、この証明と必要な資料又は外部関係となる品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等が記載されているものは、証明と資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整理していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
● 環境への配慮	1) 「国等による環境物品等の流通の推進に関する法律」に基づく「環境物品等の流通の推進に関する基本方針（令和2年）」による特定調達品目の場合は、判断基準等を満たすものとする。 2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所定の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、紙衝釘、断熱材、塗料、仕上剤は、アセトアルデヒドとホルムアルデヒドを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放出量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可燃性（フタル酸ジ-n-ブチルエステル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を有し）が添加されていない材料を使用する。 ④②の材料を使用して作られた家具、書架、装飾材、その他什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発色が極めて少ない材料を使用したものとする。 3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放出量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、別区分（第二種）とは③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
● 電気工仕事の種類	○事業用電気工仕事
● 電気保安技術者	○一般用電気工仕事 工事現場に○電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工仕事の保安の業務を行うものとする。 契約 不要 要約電力500kWh以上の電気工仕事においても、第一種電気工事士により施工を行う。 本工事に必要な工事用電力、水及び公害その他への諸手続などの費用は、すべて該業者の負担とする。 構内につくことが ○できない である ・ 設 け る （ 形 ） ・ 設 け な い 仮設機項目（・受電電圧 ・ 発電電圧） 仮設機期間（・開始 ・ 終了） 改修機率仕事情によるほか、下記による。 事前調査 ○（本工事 ・ 別途工事） 調査項目 ○（既存資料調査 ・ ） 調査範囲（・ 図示 ・ ） 調査方法（・ 図示 ○ 既設図面調査及び目視調査） 非破壊検査（費用は別途） ○ 養 生 既設部分の養生は、汚染又は損傷のないよう適切な方法で行う。 養生範囲（ / ） 図による。 養生方法（ / ） 図による。 ● 足場その他 ○ 仮設的の固定養生等が設置したものとは異なり使用できること。 ・ 本工事で設置する。 ・ 内部仮設足場等（ ・ 種 ・ 種 ） ・ 外部仮設足場等（ ・ 種 ・ 種 ） ● 施工区等の取扱い 工事が完成（指定部分に係る完成を除く）し時点では、本工事で作成する施工区等を監督員に提出する。ただし、製作等で原因として提出ができないものは、原因に代わるものとしてよい。施工区等の著作権に係る当該建築物に際する取扱い、発注者に移譲するものとする。 変換図の形状寸法等は、図面表示と多少相違してもよい。ただし、その場合は、監督員の承認を受ける。 分電盤、制御盤、端子箱等の2次側及び1次側の配管配線経路、配線本数、配線本数、管径等は、図面と相違しても差しつかえない。ただし、監督員の承認を受けるものとする。 露出設備は塗装を行う。 ・ 屋外 ・ 屋内（ ） 屋外的支持金物、ボルト及びナットなどは、溶接塗装等仕上げ又はSUS製とする。 設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築物耐震設計・施工指針2014年版」（独立行政法人建築研究所編）による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承認を受けなければならない。 1) 設計用水平地震力 機器の重量[M]に、設計用標準水平地震重を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平地震重は、次による。 設計用標準水平地震重(K)
● 電気工事設備物	
○ 監督員事務所	
○ 仮 設 機	
● 施 工 調 査	
○ 養 生	
● 足場その他	
● 施工区等の取扱い	
● 形状・寸法等	
● 配線本数、管径等	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	
● 耐 震 措 置	
○ 金属製電線管の塗装	
○ 屋外的支持金物	</

[illegible]

他工事との工事区分表

工 事 内 容		機械工事	電気工事	建築工事
電気関係	配電盤・制御盤の基礎	屋内		
		屋外		
	テレビアンテナ基礎			
	避雷針の基礎			
機器の基礎	特記した基礎			
	屋内設置			
	机上設置（扇台、アンカーボルトを除く）			
	屋外設置（〃）			
機械関係	扇台・ノブボルト			
	特記した基礎			
	補強を要するもの			
	補強を要しないもの	○		
開口部	梁、床、壁	補強を要するもの		
	貫通スリット	補強を要しないもの		○
	梁、床、壁	補強を要するもの		○
	貫通部型枠	補強を要しないもの		○
	計算機等・機器の取付	補強を要するもの		○
	器具の取付	補強を要しないもの（アウトレットボックスは除く）	○	○
	通気部分電管、端子箱等の取付	補強を要するもの		○
		補強を要しないもの		
	上記開口部の増出し		○	
	上記開口部の補強			○
点検口	スリーブの穴埋め（架台の穴埋めを含む）		○	
	OAフロア配線器具用			○
外部取付ガラリ	床、壁、天井			
	ダクト、チャンパーの接続用フランジを含む			
防虫堤	オールサービスタンクの防虫堤、タンク基礎			
床下水槽のマンホールふた	ガス漏れ検知器			
	雨水や雑排水機器排水管内配線整理用端子板			
通気筒の換気フード				
換気扇	本体		○	
	取付枠			
流し台	本体（排水トラップ共）			
浴 槽	水栓			
身障者用便所手すり			○	
電気配線	機器付風の制御盤以降の配電配線（接地共）			
	機器付風の制御盤への電源供給配電配線			
	自動制御盤と動力屋との電源系統の通り配電配線			
	自動制御盤と動力屋との操作回路の通り配電配線			
	機器と付属操作スイッチ等との通り配線			
	機器と付属操作スイッチ等との通り配電			
	機器と付属操作スイッチ			
	機器と付属操作スイッチの増設ボックス			
	導電部から通電制御部へ経て導電タンパー及び接導口に至る配電配線			
	小電器用配電系統制御盤以降の配電配線			
線	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部への電源供給			
	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と操作スイッチ間の配電配線及び操作スイッチ			
	防火扉レリーズ			
	電機格			
配線ビッド及びふた	別述機器などへの接続			
システム天井	ボード・パナール			
照明	照明ライン設備プレート			
	空調ライン設備プレート			
電子錠	電気錠及び通電器具			
	センサー及び制御盤			
浄化槽	杭工事			
	土工工事			
	基礎工事			
	電気工事			
水通りモーターメーターの配線				
水通りモーターメーターの配線の接続と調査				






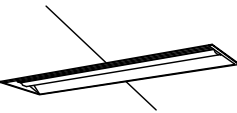
設備機材等指定表

品 目	機 材 等	選 用
電 線 ケー ブ ル	耐火ケーブル	耐火・耐火電線認定業務委員会（（社）日本電線工業会）の認定を受けている旨（JCMマーク）の表示をしたもの
用 付 風 品	耐熱ケーブル	（財）日本建築センターの性能評価マークが貼付されているもの
防 災 用 照 明 器 具	非常用照明器具	（財）日本建築センターの性能評価マークが貼付されているもの
	誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定証書が貼付されているもの
直 流 電 源 装 置	蓄電池	蓄電池設備協会認定委員会（（社）日本蓄電池工業会）の認定証書が貼付されたもの
（建築基準法及び消防法に使用する別適用）		
自 家 発 電 装 置	自家発電装置	（社）日本内務省設備協会の認定証書が貼付されたもの
非 常 放 送	増幅器	非常放送設備委員会（（社）日本電子機械工業会）の基準適合ラベルが貼付されたもの
	操作装置	
	遠隔操作装置	
	非常電話機機、子機	
火 災 報 知 装 置	受信機	消防法に適合した旨の表示があるもの
	発信機	
	感知機	
自 動 閉 鎖 装 置	運動制御器（P形）	（財）日本建築センターの性能評価マークが貼付されているもの
	自動閉鎖装置	
非 常 警 報 装 置	非常ベル	非常警報設備認定業務委員会（（社）日本火災報知機工業会）の認定証書が貼付されたもの
	表示灯	
	起動装置	
	操作装置	
	一体形及び組合装置	
ガ ス 漏 れ 警 報 装 置	受信機	高圧ガス保安協会の検定合格証書又は（財）日本ガス機器検査協会の合格証書が貼付されたもの
	中継器	
	感知器	
	交換機	
電 話 交 換 装 置	局結中継台	（財）電気通信端末機器審査委員会の認定を受けている旨の表示をしたもの
	電源装置	
	ポタン電話装置	

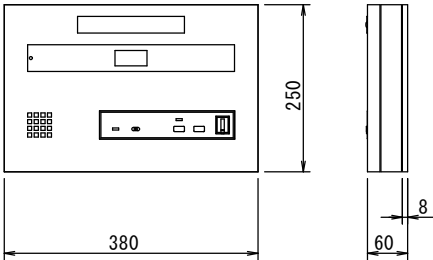
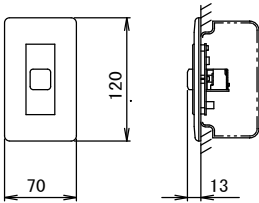
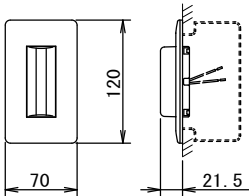
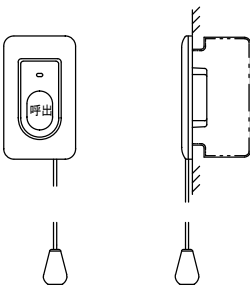
○別表-1

品 目	機 材 等	選 用
照 明 器 具	常光灯器具（防湿・防炎器具を除く）	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」及び日本建築器具工業会住宅用分電盤認定制度に基づく認定品とし、認定証書が貼付されたもの
盤 類	分電盤（実験盤を含む）	
	制御盤	
高 圧 機 器	キュービクル配電盤	
	高圧交流遮断機	
	高圧真空遮断機	
	高圧変圧器	
	高圧連相コンデンサ	
	高圧保護コンデンサ	
交 流 無 停 電 電 源 装 置 （UPS）（容量300kVA以下）	高圧負荷開閉器（遮断電流コンタクト高圧交流）	
	ガス開閉器（地中埋用）を除く）	
太 陽 光 発 電 装 置	パワーコンディショナー及び系統連送制御盤	
監視カメラ装置		
中央監視制御装置	監視制御装置	

			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : —	E
			図面名称		A3 : 71%縮小	01
			電気設備特記仕様書		令和 2 年 - 月 - 日	

A1	LRS1-08	A2	LRS1-05
 <p>LEDﾀﾞｲｳﾗｲﾄ 100形 光源寿命40,000時間（光束維持率85%） 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：銅板（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ100 5,000k、Ra85、拡散タイプ</p>		 <p>LEDﾀﾞｲｳﾗｲﾄ 60形 光源寿命40,000時間（光束維持率85%） 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：銅板（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ100 5,000k、Ra85、拡散タイプ</p>	
B	LSS1-2-30	C	LSS9-2-30
 <p>一般タイプ、3.200lmタイプ 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40,000時間（光束維持率85%） 昼白色（5,000k）、Ra83</p>		 <p>一般タイプ、3.200lmタイプ 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40,000時間（光束維持率85%） 昼白色（5,000k）、Ra83</p>	
D	LSS9-4-48	E	LED 5000LM形
 <p>一般タイプ、5.200lmタイプ 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40,000時間（光束維持率85%） 昼白色（5,000k）、Ra83</p>		<p>下面開放型 W300（※既設照明器具埋込寸法確認）</p>  <p>一般タイプ、5.200lmタイプ 本体：亜鉛銅板 ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40,000時間（光束維持率85%） 昼白色（5,000k）、Ra83</p>	

照明器具姿図

NC	トイレ呼出表示器（1窓）	●	復旧ボタン																				
																							
<table><tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz（内部電源DC12V）</td></tr><tr><td>形 状</td><td>壁取付形</td></tr><tr><td>材 質</td><td>SPCC t1.2</td></tr><tr><td>窓 数</td><td>1窓</td></tr><tr><td>表示方式</td><td>呼出音と表示窓点灯</td></tr></table>		電源電圧	AC100V 50/60Hz（内部電源DC12V）	形 状	壁取付形	材 質	SPCC t1.2	窓 数	1窓	表示方式	呼出音と表示窓点灯	<table><tr><td>形 状</td><td>壁埋込形（J I S 1 個用スイッチボックス）</td></tr><tr><td>材 質</td><td>ABS樹脂</td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr></table>		形 状	壁埋込形（J I S 1 個用スイッチボックス）	材 質	ABS樹脂						
電源電圧	AC100V 50/60Hz（内部電源DC12V）																						
形 状	壁取付形																						
材 質	SPCC t1.2																						
窓 数	1窓																						
表示方式	呼出音と表示窓点灯																						
形 状	壁埋込形（J I S 1 個用スイッチボックス）																						
材 質	ABS樹脂																						
◎	廊下灯	N	呼出ボタン（引きひも付）																				
																							
<table><tr><td>形 状</td><td>壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）</td></tr><tr><td>材 質</td><td>パネル部：自己消火性樹脂ランプ カバー：ポリカーボネート</td></tr><tr><td>備 考</td><td>LED方式（赤色）</td></tr></table>		形 状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）	材 質	パネル部：自己消火性樹脂ランプ カバー：ポリカーボネート	備 考	LED方式（赤色）	<table><tr><td>形 状</td><td>壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）</td></tr><tr><td>材 質</td><td>自己消火性樹脂</td></tr><tr><td>備 考</td><td>引きひも式、押ボタン式両用</td></tr></table>		形 状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）	材 質	自己消火性樹脂	備 考	引きひも式、押ボタン式両用								
形 状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）																						
材 質	パネル部：自己消火性樹脂ランプ カバー：ポリカーボネート																						
備 考	LED方式（赤色）																						
形 状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）																						
材 質	自己消火性樹脂																						
備 考	引きひも式、押ボタン式両用																						

弱電機器姿図

		工事名称 事務棟2階トイレ改修工事 図面名称 電気機器姿図	(有)白濱建築設計事務所 1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	縮 尺	図面番号
				A2：—	E
				A3：71%縮小	02
				令和 2 年 - 月 - 日	

前室

1. 既設照明器具 (FL20Wx1 (埋込)) -1台

撤去の後、新規照明 C -1台取付

2. 既設火報感知器 (差動式ｽﾎﾟｯﾄ2種) -1個撤去の後、
新規火報感知器 (差動式ｽﾎﾟｯﾄ2種) -1個取付

3. 既設天井埋込ｽﾎﾟｯｶｰ撤去、及び再取付 -1台

湯沸室

前室

FL20Wx1 (埋込) -1

FL40Wx2 (直付) -2

ゼッケン室

FL40Wx2 (埋込) -4

調教師休憩室

便所

7,400

1,340

2,260

3,800

2,300

1,500

225

ゼッケン室

1. 既設照明器具 (FL40Wx2 (直付)) -2台

撤去の後、新規照明 D -2台取付

2. 既設火報感知器 (差動式ｽﾎﾟｯﾄ2種) -1個撤去の後、
新規火報感知器 (差動式ｽﾎﾟｯﾄ2種) -1個取付

2,200

1,490

4,700

6,000

3

3

4

（既存）1階天井伏図 1/100

調教師休憩室

1. 既設照明器具 (FL40Wx2 (埋込)) -4台

撤去の後、新規照明 E -4台取付

2. 既設火報感知器 (差動式ｽﾎﾟｯﾄ2種) -2個撤去の後、
新規火報感知器 (差動式ｽﾎﾟｯﾄ2種) -2個取付

1Φ3W200V/100V
（既設電灯盤二次側より分岐）

2.0

ELCB 3P
30/20A

MCB 2P
30/20A

MCB 2P
30/20A

1

男子便所
ウォシュレット他
トイレ呼出表示器

2

女子便所
ウォシュレット他

2階便所ウォシュレット用電源盤

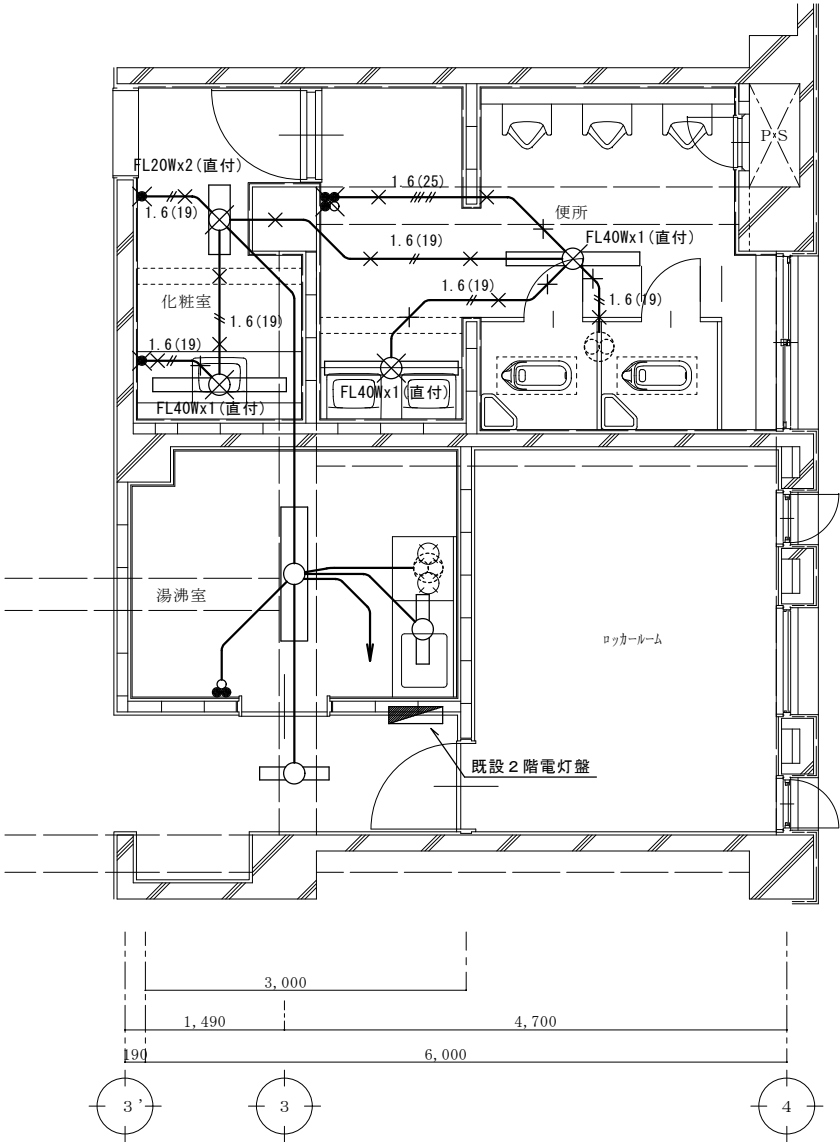
（銅板製既製品）

凡 例

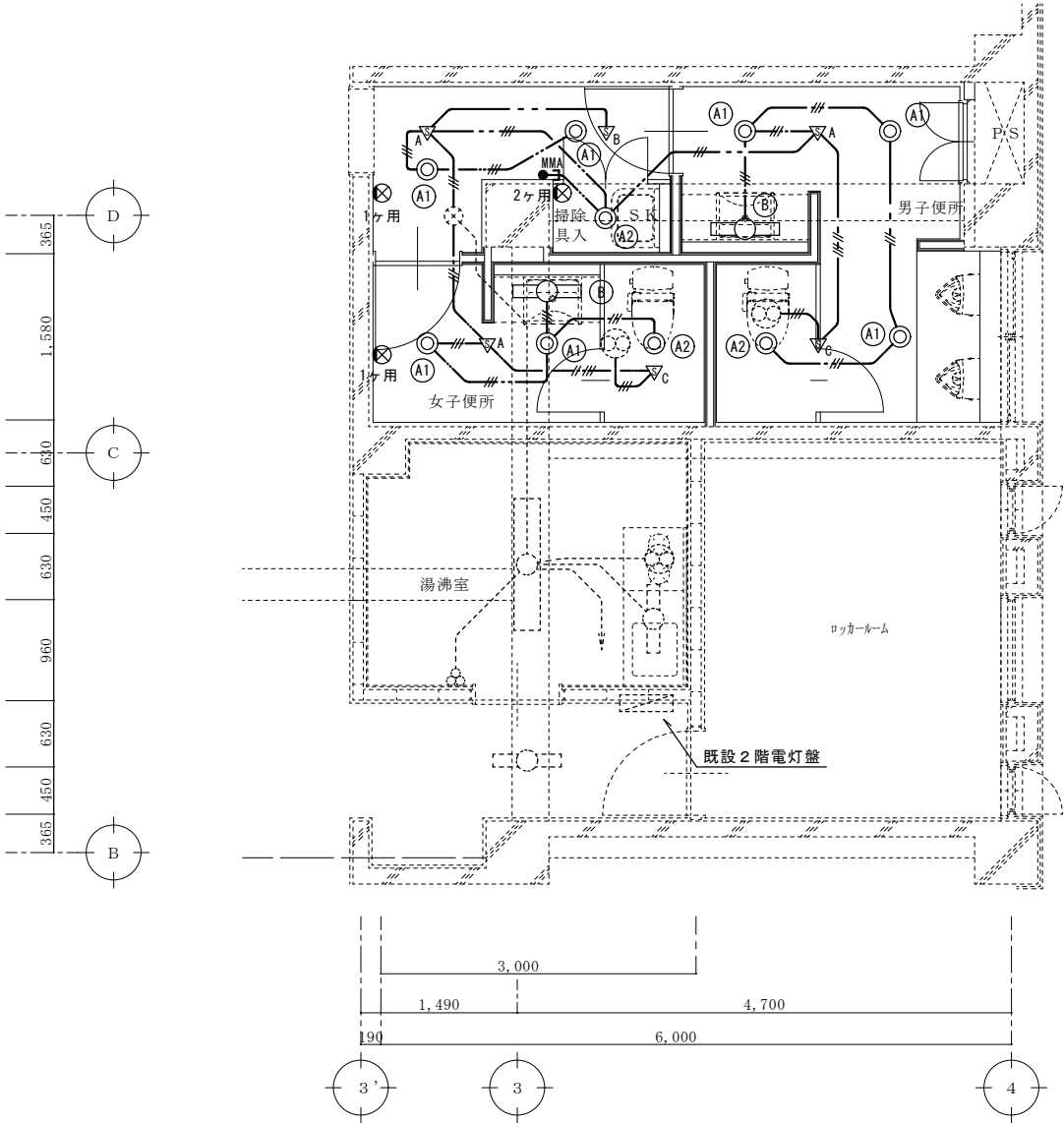
記号	名 称	備 考
S	開閉器箇	結線図参照
○	照明器具 (LED) 蛍光灯型	姿図参照
◎	照明器具 (LED) ダウンライト	〃
▽A	人感センサー 照度センサー付 親機 8A	
▽B	〃 子機	
▽C	〃 子機 換気扇連動	
▽D	〃 換気扇連動	
●	埋込スイッチ 1P15A	大角連用 金属ﾌﾟﾚｰﾄ
○	〃 1P4A (パイロット表示付き)	〃
㊦ET	埋込コンセント 2P15Ax1, ET付	〃
㊦2ET	〃 2P15Ax2, ET付	〃
⊗	ジョイントボックス (OB中浅C付)	
NC	トイレ呼出表示器 (窓数は傍記)	姿図参照
N	トイレ呼出押し釦 引き紐付	〃
◎	廊下表示灯	〃
◻	復旧ボタン	〃
⊙	天井埋込ｽﾎﾟｯｶｰ (既設品流用)	点線の器具は既存のまま
☹	火災報知感知器 差動式ｽﾎﾟｯﾄ 2種	
⊖	区画貫通処理	
×	撤去 (再使用無し)	

備考

			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	E
			図面名称		A3 : 71%縮小	03
			1階平面図・凡例・結線図		令和 2 年 - 月 - 日	



(既存) 2階便所平面詳細図 1/50



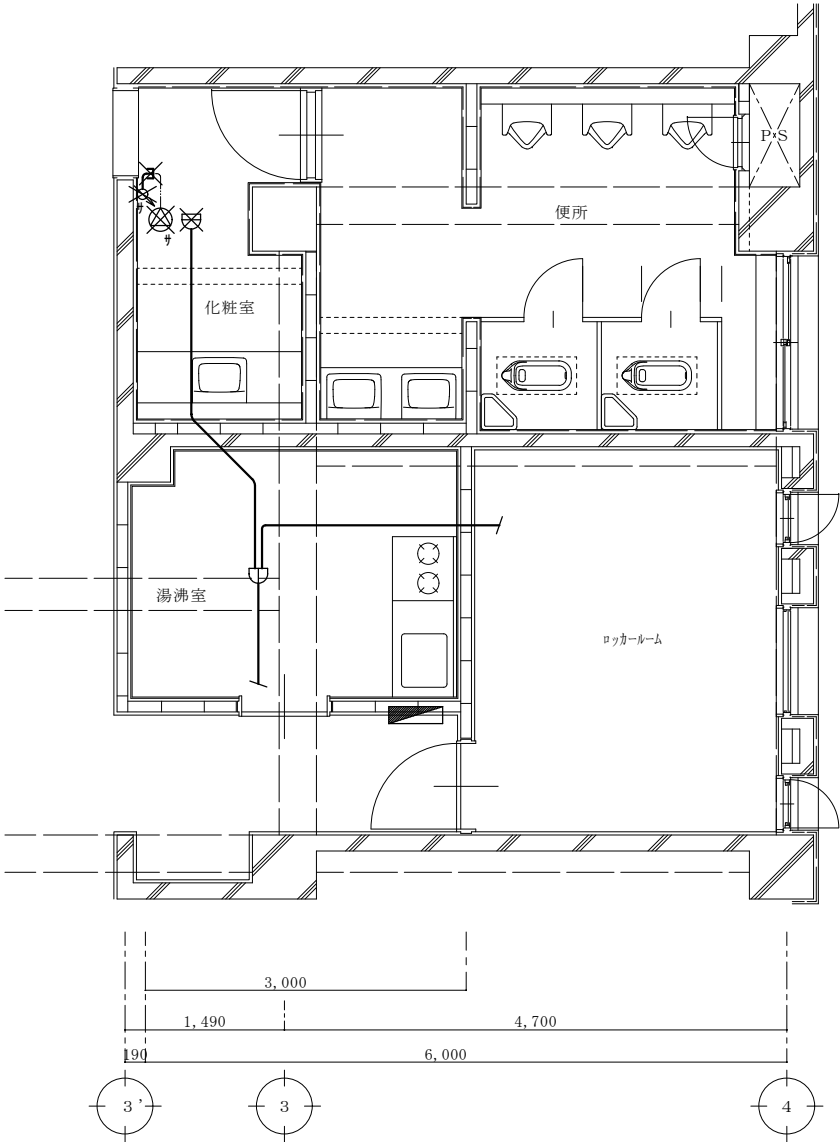
(改修) 2階便所平面案 1/50

凡 例		
記号	名 称	備 考
S	開閉器函	結線図参照
○	照明器具 (LED) 蛍光灯型	姿図参照
◎	照明器具 (LED) ダウンライト	"
▽A	人感センサー 照度センサー付親機 8A	
▽B	" 子機	
▽C	" 子機 換気扇連動	
▽D	" 換気扇連動	
●	埋込スイッチ 1P15A	大角連用 金属プレート
○	" 1P4A (パイロット表示付き)	"
⊖	区画貫通処理	
×	撤去 (再使用無し)	

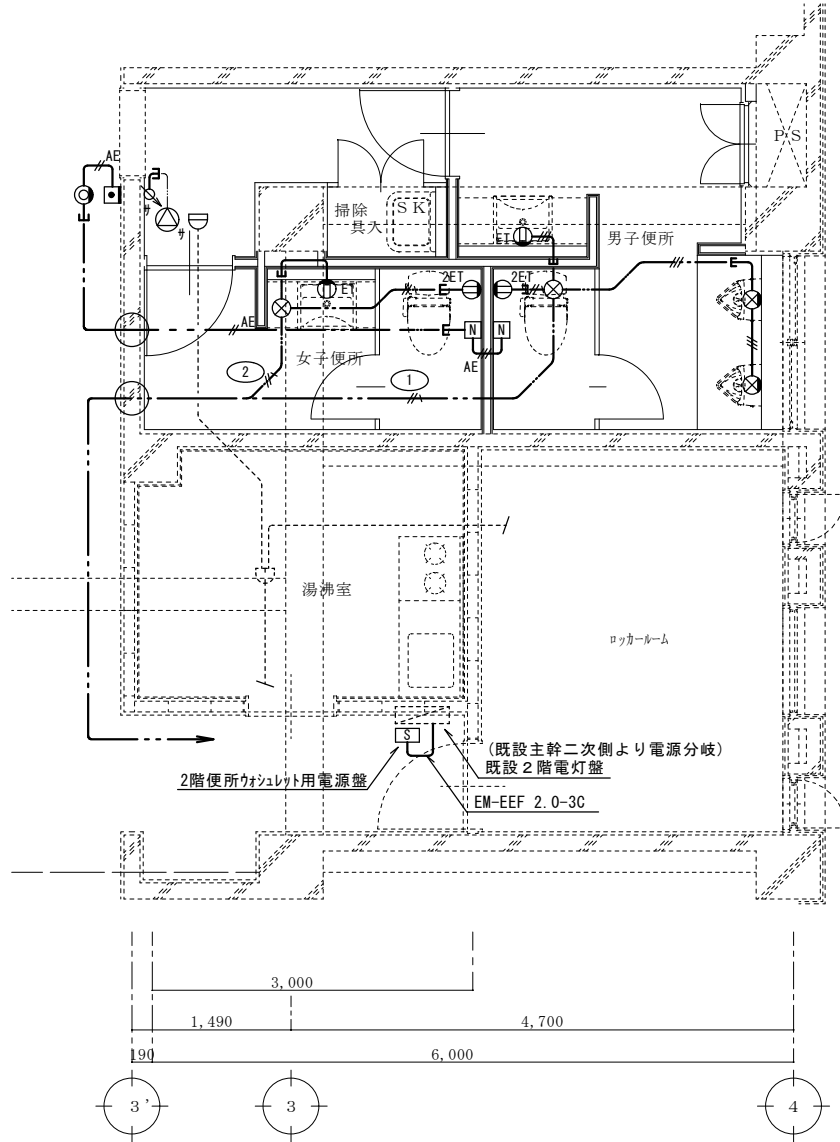
配線リスト		保護管		
—— #A ——	EM-EEF 2.0-3C	コロシ	(PF22)	(MM A)
—— #B ——	EM-EEF 1.6-2C	"	(PF16)	(MM A)
—— #C ——	EM-EEF 1.6-3C	"	(PF16)	(MM A)
—— #D ——	EM-EEF 1.6-2Cx2	"	(PF22)	(MM A)
—— #E ——	EM-EEF 1.6-2C+3C	"	(PF22)	(MM A)

注) 1. 配線の壁立上り, 引下げは配管 (PF管) により保護する。(インヘイ部)
2. 配線の壁立上り, 引下げは配管 (MM) により保護する。(露出部)

		工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
		事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/30・50	E
		図面名称		A3 : 71%縮小	04
		(既存・改修) 2階便所平面詳細図 (電灯設備)		令和 2 年 - 月 - 日	



(既存) 2階便所平面詳細図 1/50



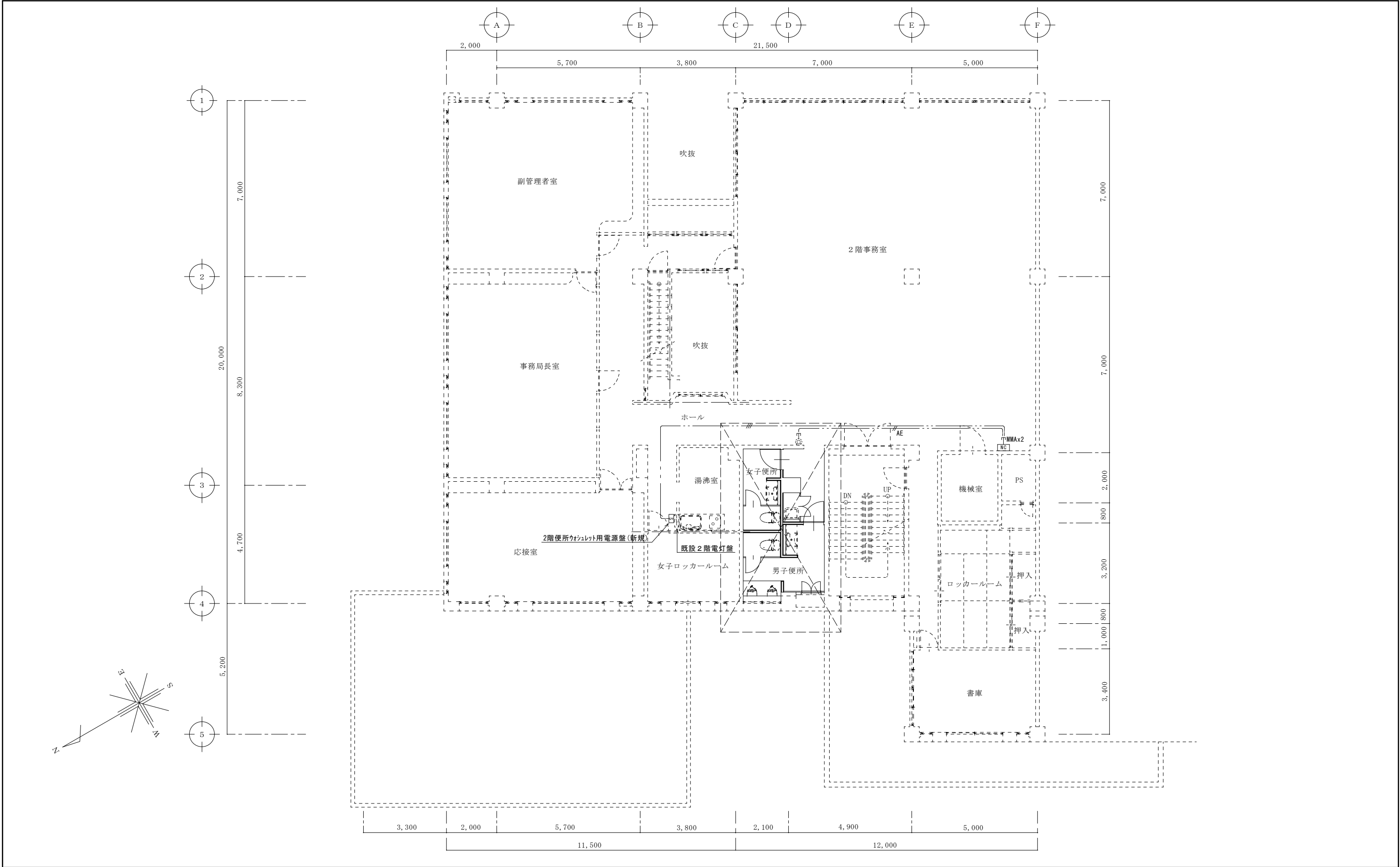
(改修) 2階便所平面案 1/50

凡 例		
記号	名 称	備 考
S	開閉器函	結線図参照
ⓂET	埋込コンセント 2P15A×1, ET付	大角連用 金属プレート
Ⓜ2ET	” 2P15A×2, ET付	”
⊗	ジョイントボックス (OB中浅C付)	
NC	トイレ呼出表示器 (窓数は傍記)	姿図参照
N	トイレ呼出押し釦 引き紐付	”
⊙	廊下表示灯	”
■	復旧ボタン	”
△#	天井埋込スリッカー (既設品流用)	
⌘#	フックネーター (既設品流用)	
⌘	火災報知感知器 差動式スリット 2種	
⊖	区画貫通処理	
×	撤去 (再使用無し)	
×#	撤去 (再使用有り)	

配線リスト		保護管		
—#—	EM-EEF 2.0-3C	コロガシ	(PF22)	(MM A)
—#—	EM-EEF 1.6-3C	”	(PF16)	(MM A)
—#AE—	EM-AE 1.2-2C	”	(PF16)	(MM A)
—#AE—	EM-AE 1.2-3C	”	(PF16)	(MM A)

注) 1. 配線の壁立上り, 引下げは配管(PF管)により保護する。(インベイ部)
2. 配線の壁立上り, 引下げは配管(MM)により保護する。(露出部)

		工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
		事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/30・50	E
		図面名称		A3 : 71%縮小	05
		(既存・改修) 2階便所平面詳細図 (コンセント・弱電設備)		令和 2 年 - 月 - 日	

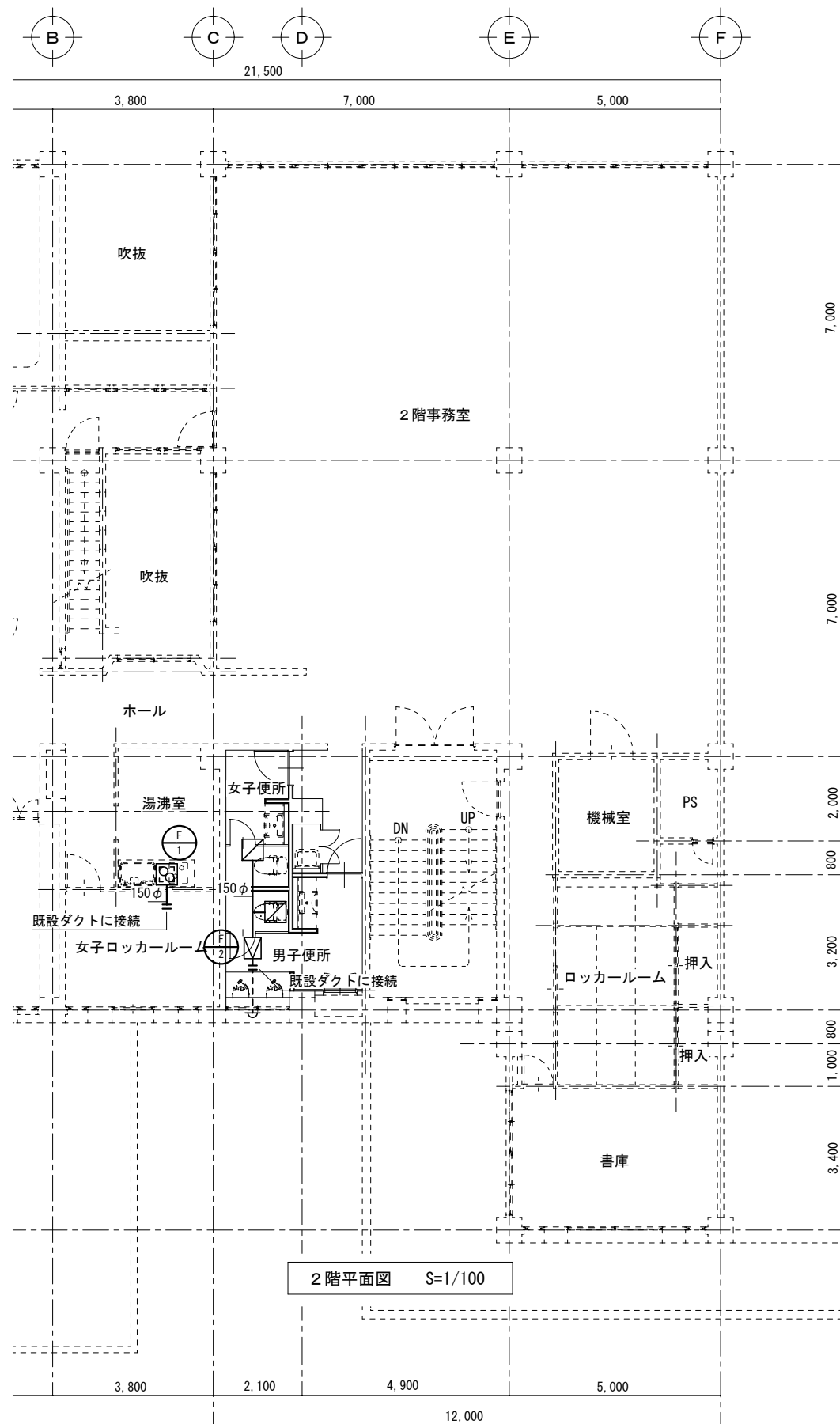


			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	E
			図面名称		A3 : 71%縮小	06
			(改修) 2階平面図 (電灯・弱電設備)		令和 2 年 - 月 - 日	

[illegible]

衛生設備器具表 ※衛生陶器は防汚仕様とする。																小計	備考	
名称	型番		仕様	2 階														
				男子便所		女子便所												
壁掛大便器	CS597BPC, SH598BAY, TCF5840AU	BC-P20S, DT-PA250CH, CW-PA11F			1		1										2	
棚付2連紙巻き器（ステンス製）	YH701	CF-63HST	SUS製、棚付二連式、ワンハンドカット		1		1										2	
自動洗浄小便器	UFS900R	YUA11AP	低リップ（AC100V）		2												2	
はめ込み式洗面器	L 350CM、TENA12A, TLK05202J	YL2150FCS, EHMNCA3S7AM203V1, KS92*MTPA	排水金具ポップアップ式		1		1										2	
掃除流し		TS202A/BN8, SF20SAF-P	バック付、送り座付横水栓				1										1	
化粧鏡	YM3545F		350×450mm 耐食鏡		1		1										2	
マーブライトカウンター	ML45	MB450M	D=450mm、1,100L フロントパネル共		1												1	
	ML45	MB450M	D=450mm、1,500L フロントパネル共				1										1	

			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : ———	M
			図面名称		A3 : 71%縮小	0 2
			衛生設備器具表		令和 2 年 - 月 - 日	



機器表

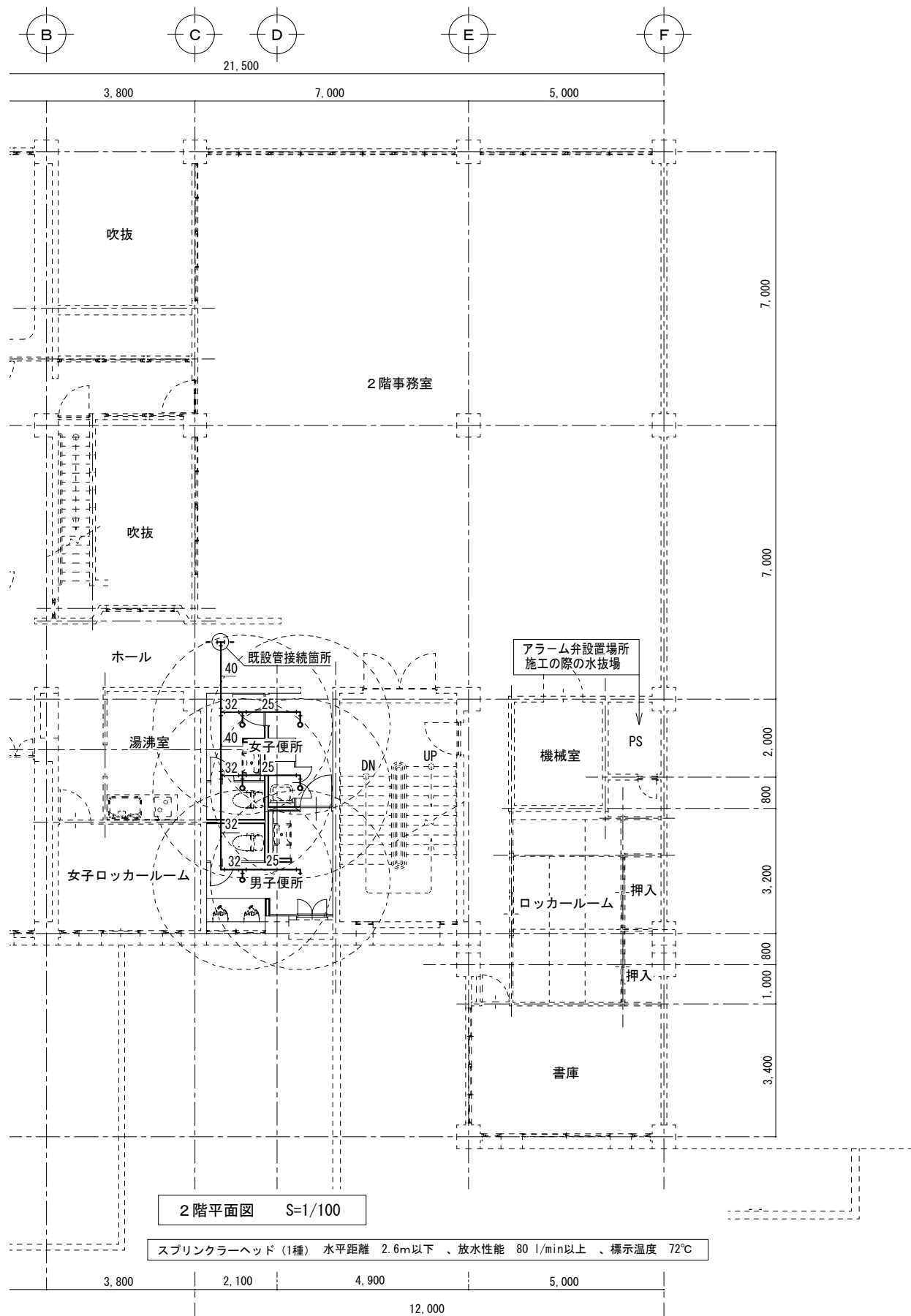
記 号	名 称	台数	仕 様	動 力			備考 (系統・設置場所)
				φ	V	W	
F-1	天井換気扇	1	低騒音型 230φ × 600 m3/h	1	100	88	
F-2	中間扇	1	低騒音型 150φ × 300 m3/h	1	100	43.5	吸込グリル150Φ×2

凡 例

記 号	名 称	仕 様
	換気扇	天井換気扇
	ダクト	スパイラルダクト

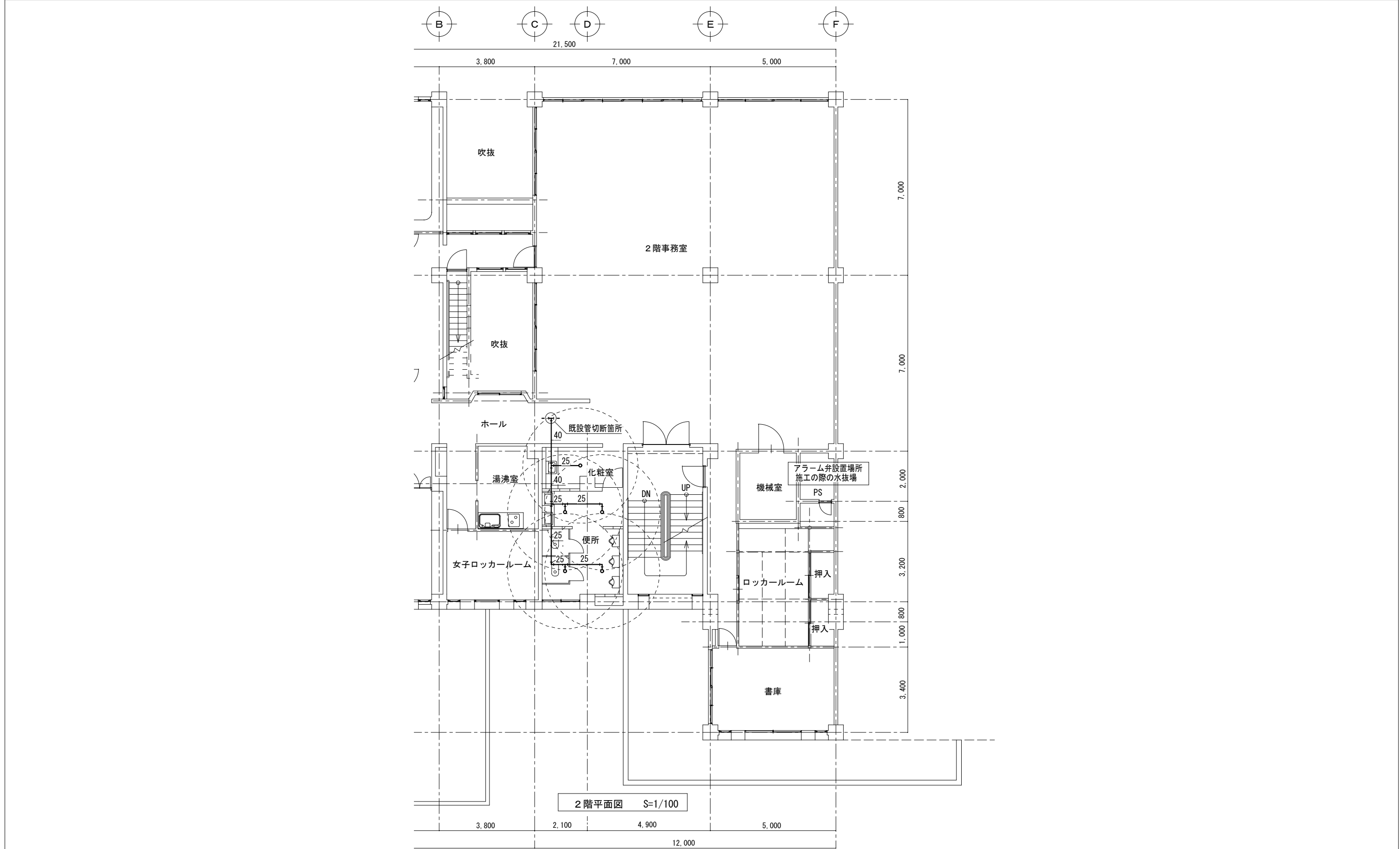
2 階平面図 S=1/100

		工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
		事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	M / 03
		図面名称		A3 : 71%縮小	
		(改修) 2階平面図・機器表・凡例(換気設備)		令和 2 年 - 月 - 日	



凡 例		
記 号	名 称	仕 様
—— ———	給 水 管	(一般) 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VA
—————	排 水 管	(一般) 硬質塩化ビニル管 VP (区画貫通、1階床上 全て耐火二層管とする)
——┐——	汚 水 管	(一般) 硬質塩化ビニル管 VP (区画貫通、1階床上 全て耐火二層管とする)
-----	通 気 管	(一般) 硬質塩化ビニル管 VP (区画貫通、1階床上 全て耐火二層管とする)
—— X ——	スプリンクラー管	(一般) 配管用炭素鋼々管 (白)

		工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
		事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	M
		図面名称		A3 : 71%縮小	04
		(改修) 2階平面図・凡例(消火設備)		令和 2 年 - 月 - 日	



			工事名称	(有)白濱建築設計事務所	縮 尺	図面番号
			事務棟2階トイレ改修工事	1級建築士 登録番号 第341277号 白濱 宗徳	A2 : 1/100	M
			図面名称		A3 : 71%縮小	06
			(既存) 2階平面図(撤去消火設備)		令和 2 年 - 月 - 日	